

23. 5. 25

平成 22 年度

事業報告書

社会福祉法人^{恩賜財団}東京都同胞援護会

平成 22 年度事業報告

目 次

一	平成 22 年度事業報告	1
二	事業経営	6
1	保育支援系福祉サービスの経営	6
2	高齢者支援系福祉サービスの経営	17
3	障害者支援系福祉サービスの経営	40
4	児童・女性支援系福祉サービスの経営	56
5	医療事業の経営	66
6	収益事業の経営	69
三	職員福利厚生制度	70
四	理事会及び評議員会	71
五	施設長会議及び各種委員会	75
六	事務局主要業務	89

一 平成 22 年度事業報告

平成 22 年度は日本経済にやや回復する兆しがありましたが、依然として消費や雇用が低迷する中、東日本大震災が発生し、我が国の社会・経済に深刻な影響をおよぼす事態となりました。

社会福祉の分野では、新たな制度の創出に向けて様々な議論がなされており、障害者総合福祉法(仮称)や子ども・子育て新システムなどの制度概要が示されました。

当法人においては、利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保・育成に努めました。

まず施設運営についてですが、利用者への個別計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、老朽化した設備を積極的に更新するなど利用者の安心・安全を高めました。更に、懸案であったむさしの保育園とサンライズ武蔵野の全面改築に着手しました。また、昭島市からの地域包括支援センターの受託や、各保育園での定員の枠を超えた受入など、地域ニーズに応える運営を行って参りました。

次に人材の確保・育成についてですが、引き続き計画的な採用を進めるとともに、新規職員から施設長までを対象とした法人研修の充実に加え、各支援系グループにおける専門別の研修を計画的に実施し、職員のスキルアップに繋げました。

最後に、昭島病院の運営については救急患者の受入に力を入れるとともに、感染症入院医療機関として登録するなど、地域の中核病院としての役割を果たして参りました。また、今年度も収支の改善に努めた結果、昨年度に引きつづき黒字決算となりました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心から感謝いたします。

平成22年度 施設利用状況報告

平成23年3月31日現在

グループ名	種別	施設名	利用状況							備考
			定員	(3月利用者実績数)	1日利用者平均	年間利用者数	年間実施延日数	(21年度)年間利用率	(22年度)年間利用率	
保育支援系	保育所	むさしの保育園	154	156	155.8	45,817	294	101.1%	101.2%	
		本園	125	127	126.8	37,291	294	101.4%	101.5%	
			方南分園	29	29	29.0	8,526	294	99.7%	100.0%
		昭和郷保育園	100	116	115.3	33,782	294	117.5%	114.9%	
		大山保育園	122	125	125.0	36,614	294	100.8%	102.1%	
		昭和郷第二保育園	174	189	186.0	54,509	294	106.6%	106.6%	
		本園	153	165	164.9	48,320	294	109.6%	107.4%	
			分園	21	24	21.1	6,189	294	84.7%	100.2%
		みなと保育園	70	69	69.8	20,466	294	103.0%	99.4%	
		同援みどり保育園	125	126	130.1	38,116	294	104.4%	103.7%	
		つつじが丘保育園	110	136	133.2	39,019	294	115.2%	120.7%	
		同援さくら保育園	108	119	120.3	35,251	294	109.3%	111.0%	
		小計		963	1036	1,036	303,574	294	106.8%	107.2%
高齢者支援系	養護老人ホーム	万世敬老園	200	202	200.6	73,213	365	100.1%	100.3%	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	50	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	
		ライトホーム	50	43	41.2	15,052	365	84.2%	82.5%	
	小計		300	295	291.8	106,515	365	97.4%	97.3%	
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業含)	フジホーム	104	98.6	100.8	36,774	365	96.8%	96.9%	
		ニューフジホーム	104	102	98.9	36,088	365	93.7%	95.1%	
		原町ホーム	52	53.6	50.6	18,477	365	98.6%	97.3%	
		ゆたか苑	54	54.6	53.1	19,382	365	95.6%	98.3%	
		ひかり苑	54	53.8	53.5	19,540	365	96.7%	99.1%	
	小計		368	362.6	356.9	130,261	365	96.0%	97.0%	
	認知症対応型老人 共同生活介護(グループホーム)	かえで	9	9	8.0	2,934	365	95.4%	89.3%	
	老人 デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	25	19.7	20.6	6,346	308	78.9%	82.4%	
		フジ・デイホーム	10	8.3	9.1	2,807	308	71.7%	91.1%	
		原町高齢者在宅サービスセンター	15	12	14.0	4,287	307	90.9%	93.1%	
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	8.4	9.1	2,809	308	83.7%	76.0%	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター				8113件	307			
		昭島市中部地域包括支援センター				7452件	294			4月1日開所
居宅介護支援事業所	フジホーム			3.6	886	243				
	原町ホーム			3.0	881	294				
	ゆたか苑			3.5	836	241				
	ひかり苑			1.5	358	243				

グループ名	種別	施設名	利用状況							備考	
			定員	(3月利用者数)	1日利用者平均	年間利用者数	年間実施延日数	(21年度)年間利用率	(22年度)年間利用率		
障害者支援系	知的障害者援護施設 (入所)	さやま園	100	98	99.2	36,203	365	100.1%	99.2%		
		知的障害者短期保護事業	5		2.8	1,017	365	56.5%	55.7%		
	知的障害者援護施設 (通所)	小茂根福祉園	更生施設	30	35	31.5	7,648	243	102.9%	104.9%	
			授産施設	30	29	24.7	6,011	243	80.2%	82.5%	
		立川福祉作業所	授産施設	75	77	67.8	18,245	269	89.9%	90.4%	
	知的障害者支援施設	東村山生活実習所	生活介護	30	30	27.0	6,532	242	93.5%	90.0%	
			短期入所	2		0.3	88	273		16.1%	7月1日開始
			就労継続支援B	10	10	6.9	1,691	244		69.3%	4月1日開始
	救護施設	昭島荘	100	101	100.8	36,799	365	101.2%	100.8%		
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ		157	5.9	2,138	365				
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター		695	26.0	9,495	365				
	共同生活介護・ 共同生活援助 (知的障害者グループホーム)		アミニティ富士見	6	6	6.0	2,190	365	93.1%	100.0%	
			グリーンハイツ	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	
			フレンズ・モエ	4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	
			パル	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	
			それいゆ小川	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	
			レジオンス巣鴨	4	4	4.0	1,460	365	95.9%	100.0%	
			はなみずき	4	4	4.0	1,460	365	98.5%	100.0%	
			ユーカリ	4	3	4.0	1,460	365	86.2%	100.0%	
		夢オハナ	6	6	5.9	2,171	365	100.0%	99.1%		
小計			428	1,277	439	142,638	365				
児童・女性支援系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	20	7	11.4	4,149	365	86.8%	56.8%		
		サンライズ青山	20	19	19.3	7,057	365	98.8%	96.7%		
		港区緊急一時保護	1		0.6	215	365	98.1%	58.9%		
		サンライズ万世	20	20	19.5	7,110	365	96.1%	97.4%		
		子育て短期支援	2		0.1	37	365	21.4%	5.1%		
		サンライズ山中	20	14	14.3	5,206	365	78.4%	71.3%		
	児童養護施設 (地域小規模)	双葉園	46	46	44.9	16,383	365	90.6%	97.6%		
		双葉園	40	40	38.9	14,193	365		97.2%		
		高嶋の家	6	6	6.0	2,190	365		100.0%		
	婦人保護施設	いこいの家	40	30	28.6	10,428	365	80.9%	71.4%		
小計			169	136	138.6	50,585	365	87.2%	82.0%		
医療	病院	昭島病院	199	718	718.0		365				
		入院	199	163	163.0		365	85.2%	82.1%		
		外来		555	555.0		281				
		訪問看護ステーション			13.3	722	262.5				
収益	印刷	事業局									
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業									
合計(福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業22)			2,498	3,882	3,065	756,439	365				

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。

注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。

平成22年度 職員配置状況報告(職員実人員数)

グループ名	種別	施設名	平成22年3月31日					21年度	平成23年3月31日					22年度	備考
			正規職員	臨時職員			職員数合計	(年間平均) 常勤換算	正規職員	臨時職員			職員数合計	(年間平均) 常勤換算	
				契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B			
保育支援系	保育所	むさしの保育園	30	11	0	25	66	54.2	32	7	1	25	65	51.6	
		昭和郷保育園	19	4	1	14	38	28.3	20	4	0	16	40	31.7	調理委託
		大山保育園	20	3	8	6	37	33.9	18	6	1	10	35	34.0	
		昭和郷第二保育園	28	6	0	13	47	40.6	28	4	0	18	50	41.9	調理委託
		みなと保育園	13	6	0	10	29	25.0	16	1	1	6	24	23.3	調理委託
		同援みどり保育園	19	6	3	19	47	38.8	21	6	2	17	46	38.3	
		つつじが丘保育園	22	5	0	20	47	37.3	19	6	1	18	44	34.1	調理委託
		同援さくら保育園	21	4	0	23	48	34.8	23	1	0	21	45	35.8	調理委託
小計			172	45	12	130	359	292.9	177	35	6	131	349	290.7	
高齢者支援系	養護老人ホーム	万世敬老園	22	10	6	12	50	42.8	20	8	13	13	54	50.9	調理委託
	軽費老人ホーム	サンホーム	10	3	2	8	23	16.0	9	3	2	7	21	16.4	
		ライトホーム	1	2	0	0	3	3.0	1	2	0	0	3	3.0	
	特別養護老人ホーム	フジホーム	28	18	0	24	70	56.9	31	14	5	19	69	61.1	調理委託
		ニューフジホーム	35	10	0	29	74	61.5	37	8	0	29	74	62.3	調理委託
		原町ホーム	17	7	8	6	38	34.2	21	3	9	9	42	38.2	調理委託
		ゆたか苑	20	10	2	7	39	33.1	20	9	1	8	38	32.4	調理委託
		ひかり苑	20	17	0	7	44	38.3	16	14	1	9	40	37.7	
	認知症対応型老人 共同生活介護	かえで	2	5	0	3	10	9.0	2	4	0	4	10	8.6	
	老人サービスセンター	フジ・デイサービスセンター	3	1	5	5	14	12.0	3	1	6	4	14	12.5	
		フジ・デイホーム	1	0	6	0	7	6.3	1	0	5	1	7	6.3	
		原町高齢者 在宅サービスセンター	1	3	3	8	15	11.9	1	3	5	6	15	12.8	
		東大和市ふれあい デイセンターひかり苑	2	3	0	1	6	5.9	2	3	0	2	7	6.7	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者 総合相談センター	5	0	0	0	5	5.0	9	0	0	0	9	9.0	
		昭島市中部地域包括 支援センターあいぱく	-	-	-	-	-	-	3	0	0	1	4	3.4	4月1日開所
	居宅介護支援事業所	フジホーム	1	1	0	1	3	2.3	1	1	0	0	2	2.1	
原町ホーム		1	1	0	1	3	2.6	1	1	0	1	3	2.8		
ゆたか苑		3	0	0	0	3	2.8	2	0	0	0	2	2.0		
ひかり苑		1	0	0	0	1	1.0	1	0	0	0	1	1.0		
小計			173	91	32	112	408	344.6	181	74	47	113	415	369.2	

グループ名	種別	施設名	平成22年3月31日				職員数合計	21年度 (年間平均 常勤換算)	平成23年3月31日				職員数合計	22年度 (年間平均 常勤換算)	備考
			正規職員	臨時職員					正規職員	臨時職員					
				契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B			
障害者支援系	知的障害者援護施設	さやま園	31	15	0	20	66	57.8	41	10	1	20	72	62.7	
	知的障害者短期保護事業						0						0		
	知的障害者援護施設	小茂根福祉園(更生)	17	6	0	0	23	23.8	21	4	0	1	26	24.8	
		小茂根福祉園(授産)	8	0	0	2	10	9.5	8	0	0	2	10	9.3	
		立川福祉作業所	12	1	0	15	28	19.8	12	1	0	16	29	21.3	調理委託
	知的障害者支援施設	東村山生活実習所	10	2	0	12	24	16.8	11	3	0	9	23	19.6	調理委託
	救護施設	昭島荘	34	4	0	4	42	40.2	32	3	3	7	45	42.7	調理委託
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	9	2	0	7	18	14.7	9	3	0	6	18	14.7	調理委託
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	16	1	0	18	35	25.6	19	0	0	21	40	25.8	
	共同生活介護・ 共同生活援助事業	アミニティ富士見					0						0		
		グリーンハイツ					0						0		
		フレンズ・モエ					0						0		
		パル					0						0		
		それいゆ小川					0						0		
レジオンス巣鴨						0						0			
はなみずき						0						0			
ユーカリ						0						0			
夢オハナ					0						0				
小計			137	31	0	78	246	208.2	153	24	4	82	263	220.9	
児童・女性支援系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	5	2	0	5	12	9.5	5	3	0	4	12	10.6	
		サンライズ青山	5	3	0	3	11	8.9	6	3	0	3	12	9.8	
		サンライズ万世	6	3	0	5	14	10.7	7	2	0	6	15	11.1	
		サンライズ山中	6	2	0	1	9	8.1	6	2	0	1	9	8.0	
	児童養護施設 (地域小規模)	双葉園	23	3	0	9	35	32.8	24	4	1	7	36	34.5	
		高嶋の家	4	0	0	0	4		4	0	0	0	4		
	婦人保護施設	いこいの家	9	2	0	4	15	12.6	9	2	0	5	16	13.1	調理委託
小計			58	15	0	27	100	82.6	61	16	1	26	104	87.1	
医療	病院	昭島病院	201	0	0	142	343	261.6	200	0	0	137	337	258.1	
		訪問看護ステーション	4	0	0	3	7		4	0	0	3	7		
収益	印刷	事業局	14	0	0	0	14	14.0	13	0	0	0	13	13.0	
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業													
合計			759	182	44	492	1477	1,203.9	789	149	58	492	1488	1,239.0	

注1 嘱託医等の業務委託や派遣職員は算入していない。

注2 共同生活介護・共同生活援助事業の職員配置は、委託事業のため職員数および常勤換算には含まない。

注3 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、
非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員。

なお、昭島病院(訪問看護ステーション含)では正規職員の所定時間は1日7時間42分(週40時間)となっており、
非常勤で1日の労働時間が最長でも7時間30分であるため、非常勤職員全員が非常勤Bに該当する。

二 事業経営

定款の定める本法人事業目的達成のため、次の施設を経営しました。

1 保育支援系福祉サービスの経営

保育所を経営しました。

【グループ総括】

- 1) 雇用環境は昨年に続き悪化、経済的不安も増す中で待機児も更に増加し、その解消に向け保育グループでは弾力入所受け入れを積極的に行いました。
- 2) 親の育児不安や育児力低下等により、児童虐待の件数も大きく増加しています。私達は保育所の果たす役割を認識し持っている力を十分発揮しながら、育児力向上に向けて保護者の支援を致しました。また、必要に応じて専門機関との連携・協働を推進しました。
- 3) 地域の子育て中の親の支援に向けては、近隣との関係も希薄化している中、子育て力の向上を目指し、情報や場所の提供に努めました。あわせて、子育て相談の内容に応じて専門機関の紹介等を行いました。
- 4) 8園が利用者アンケートを実施し、保護者の意見を十分受け止め、多様な保育サービスの提供や充実に繋げました。
- 5) 昨年の新人チューター制度導入に加え、中堅チューター制度・キャリアパスシートの導入、職員育成計画の作成を行い、職員の育成に努めました。
- 6) 職員の資質向上に向け、法人階層別研修・各保育団体の研修・市区の研修・グループ研修・園内研修への参加や自己研鑽等に努めました。あわせて人事考課制度の定着により人材育成に繋げました。
- 7) 国の目指す「子ども・子育て新システム」の動向に注目し、情報収集を行うとともに学習会に積極的に参加しました。また、東北地方大震災の影響については市区との連携を密にし迅速な対応に努めました。

(1) 保育所

日々保護者の委託を受けて、保育にかける乳児または幼児を保育しました。

むさしの保育園	定員 125 名	
むさしの保育園方南分園	定員 29 名	計 154 名

稼働率 101.1% (本園 101.5%、方南分園 100.0%)

【施設運営状況】

- 1) 待機児解消に向け、区との協議を図りながら、乳幼児の弾力入所を受け、定員増の中で経営の安定に努めました。
- 2) 改築工事計画について、地域・保護者への説明会を実施し理解協力を得て着工することができました。工事車両の出入りに伴い職員を配置し、登降園児の安全を図りました。また園庭確保が困難なため、屋上環境の整備に努めました。
- 3) 地域の子育て拠点として、保育園の役割を充分認識し体験保育・出前保育・育児講座等の事業を積極的に実施しました。評価機関による利用者アンケートを受審し、保育内容の見直し保護者対応への課題に取り組みました。

4) 育児困難家庭・要配慮児が増える中、保護者の気持ちに寄り添いながら専門機関との連携を図り対応に努めました。また就学後の気になる子どもへの対応については、学校側との面談を実施し関係を密にいたしました。

5) 人材育成に向け、各種研修会等に参加し自己研鑽に努めるとともに、情報を共有し合いながら専門性を高め資質向上に努めました。

【利用者支援状況】

1) 子ども一人ひとりの発達状況、個人差、個性を大切にし、年齢に合わせた環境を用意し子どもの生きる力を育てる保育を実施しました。

2) 行事、遊び、生活を通して子ども達が、人との交流など関係づくりの経験が充分できるよう努めました。

3) 子どもの発見・感動から、次の活動や意欲につながるよう、保育内容の充実に努めました。

4) 子ども一人ひとりの気持ちを理解し、受けとめ、気持ちに寄り添いながら、その子の現状に合った保育を進めました。

5) 地域の方、利用者のニーズに合わせた育児講座を開催し、また相談に応じながら、地域で必要とされる保育所となるよう努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
テレビ	250		
乳児棟屋上柵塗装	400		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
テラス木製遊具補修	270	乳児棟屋上柵塗装	480
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
コピー機(分園)	1,000	コピー機(分園)	729
		テレビ	148
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
改築第1期工事	17,000	テラス木製遊具補修	365
		改築第1期工事	14,042

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	84	85	86	86	86	86	86	85	85	85	85	85	1024
女児	71	70	70	70	70	70	70	71	71	71	71	71	846
合計	155	155	156	156	156	156	156	156	156	156	156	156	1870

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	22	28	34	25	24	18	151
平成21年度	22	29	34	24	23	23	155
平成22年度	21	28	35	25	26	21	156

昭和郷保育園

定員 100 名

稼働率 114.9%

【施設運営状況】

- 1) 入所状況については、安定していましたが昨年より2%ほど少なく、幼児の途中入所はほとんどありませんでした。
- 2) 地域子育て支援として、体験保育、一時保育の利用に多く応えることができました。
- 3) 当園独自の給食、調理となり順調に進めることが出来、園児、保護者から好評を得ることができました
- 4) 病後児保育は登録後、実際の利用に繋がらず毎月の利用人数は少なかったものの、保護者の就労支援ができました。
- 5) 職員それぞれの目標に合わせた園内外の研修を受けることにより、保育の向上に繋ぐことができました。

【利用者支援状況】

- 1) 行事やさまざまな保育活動に子ども達は進んで取り組み、自主性や協調性がつき自分で考えられるようになりました。
- 2) 家庭的な雰囲気の中で、個々の成長発達を捉えながら、安全で情緒が安定した生活ができました。
- 3) 縦割り保育の中でお互い関わりながら、またボランティアや地域の方々と交流する中でやさしさや思いやりの気持ちが育ちました。
- 4) 運動能力の向上を目指して、毎日、継続して運動あそびを取り入れ健康な身体づくりができるようになりました。
- 5) 保育者や友達との関わりの中で、あいさつや返事が出来、自分の思いを言葉で伝えられるよう支援しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
床コーティング塗装	980	床コーティング塗装	978
砂場修理	980	カラーコピー機	1,000
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
カラーコピー機	2,000	砂場修理	420
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
ロックライミング	950	木製コンビネーション遊具	1,297
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
壁紙張替	900	壁紙張替	478

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	67	68	69	67	68	68	68	68	68	68	68	68	815
女児	43	46	47	47	47	47	47	47	48	48	48	48	563
合計	110	114	116	114	115	115	115	115	116	116	116	116	1378

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	11	18	20	24	25	22	120
平成21年度	13	16	23	22	22	25	121
平成22年度	12	16	21	27	23	17	116

大山保育園

定員 122 名

稼働率 102.1%

【施設運営状況】

- 1) 入所状況は定員プラス3名で受け入れ途中退園後入園が無く稼働率100.8%前年度より1.3%増での受け入れをしました。
- 2) 第三者評価を受信し利用者・職員の意見を受け止め保育サービスの充実・改善に繋がりました。
- 3) 高齢者施設への訪問、高齢者を保育園に招いて、折り紙や読み聞かせの交流、また地域の親子には公園での出前保育等に積極的に取り組みました。
- 4) 新人・中堅のチューター制度を取り入れ人材育成をすすめました。区研修・法人研修・園内研修を進め自己研鑽し育成に努めました。
- 5) 子育てサロン（地域の親子と園の交流）栄養士・看護師・保育士が子育て相談を積極的に進め成果をあげました。

【利用者支援状況】

- 1) 子ども一人ひとりの成長に合わせ「たくましく生きる力」を育てることを意識して家庭と連携を取りながら保育の充実に努めました。
- 2) 地域の親子が楽しく参加できる工夫（育児講座・体験保育・子育てサロン）子育て力の向上を目指し情報の開示・場所の提供を積極的に進めました。
- 3) 大学に声をかけ毎回10名のボランティアの参加がありました。行事等で子どもとの交流を進め、また夏休みには中学生のボランティアも受け入れ乳幼児交流と理解に繋がりました。
- 4) 長時間保育が増えているため家庭との連携・職員間の連携を図りました。保護者対応の充実を図り保育環境を整え安全・安心して過ごせるように努めました。
- 5) 「子ども・子育てシステム」の動向を注目し情報収集・学習会に積極的に参加しました。東北・関東大震災の際には、区と連携し迅速な対応に努めました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
幼児プール取替	1,600	幼児プール取替	995
給食室水回り改修工事	1,000		
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
非常通報装置	230	天井塗装工事	130
保育室水回り改修工事	1,000	給食室水回り改修工事	234
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
1階天井塗装工事	600	非常通報装置	230

保育室エアコン取替6台	3,500		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
2階天井塗装工事	600	保育室エアコン取替	1679
		手洗取付工事	1680
		食器洗浄機	945

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	72	72	72	72	71	73	72	72	72	72	72	72	864
女児	51	51	52	52	52	52	53	52	53	53	53	53	627
合計	123	123	124	124	123	125	125	124	125	125	125	125	1491

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	12	20	21	24	23	25	125
平成21年度	12	20	21	24	23	22	122
平成22年度	12	20	21	24	24	24	125

昭和郷第二保育園

定員 153名

昭和郷第二保育園分園

定員 21名

計 174名

稼働率 106.6%(本園 107.4%、分園 100.2%)

【施設運営状況】

- 1) 入所定員の弾力化を行い3月には189名入所、稼働率前年同月対比2.3%増となり待機児解消に努めました。また、東日本大震災にあっては、市との連携を密にし迅速な対応を行いました。
- 2) 利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門的知識や技能を活かし、他機関と連携して保護者、地域の育児支援に努めました。
- 3) 利用者調査を受審し、保護者の意見を十分受け止め、多様な保育サービスの提供や充実につなげました。
- 4) 地域に向けて、子育ての情報を発信したり、地域のご老人や子ども達と各種行事を楽しみながら交流を図りました。
- 5) 職員育成計画に基づき、チューター制度、研修の充実により職員の能力向上をはかり、多様なサービスと質の高い保育を提供できるよう努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの発達に合わせたきめ細かい保育に努めました。
- 2) 安全で衛生的な環境を用意し、保育園に蓄積された保育・保健・栄養等のノウハウを活かしながら、子ども達が安心して過ごせるように努めました。
- 3) 経験や体験、文化の伝承から生きる力の基礎を育て、豊かな心を持った健康で逞しい子どもの育成を目指しました。
- 4) 保育士等の適切な言葉かけや対応により、子どもの自己内対話能力を育て、自分で判断できる子どもの育成に努めました。
- 5) 年間を通し、ご老人による子どもの見守りや中学生等のボランティアを受け入れ、子ども達との交流を図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
手洗いシンク設置	940	1階風呂場トイレ改修工事	777
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
保育室敷居取替工事	580	エアコン(分園)	800
エアコン(分園)	1,800	エアコン(サンルーム)	540
エアコン(サンルーム)	600	外部屋根波板交換	903
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
園舎前フェンス工事	900	園庭固定遊具ネット踏み台修理	305
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
園庭側テラス整備	600	トイレ漏水・保育室敷居等修繕	318
		給食用冷凍冷蔵庫交換(緊急)	432
		給食用湯沸かし器交換(緊急)	226

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	88	89	95	95	94	95	95	94	96	96	96	96	1129
女児	82	87	90	91	92	92	95	95	93	93	93	93	1096
合計	170	176	185	186	186	187	190	189	189	189	189	189	2225

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	21	31	35	35	35	31	188
平成21年度	22	27	35	35	33	33	185
平成22年度	24	30	32	36	33	34	189

みなと保育園

定員 70名

稼働率 99.4%

【施設運営状況】

- 1) 4月2名増の72名でスタートしました。幼児クラスで引っ越しによる退園が3名出ましたが、待機児童がいなかったため9月より定員1名減の未充足になり、稼働率が99.4%と昨年より減となってしまいました。
- 2) 保育環境(ハード面・ソフト面)の改善を図り、発達及び生活の連続性に配慮した保育を心がけることができました。
- 3) 利用者アンケートを受け、保護者が感じている事や要望を把握し、課題を職員間で共通認識し改善を図り保育サービスの向上に繋げる事が出来ました。
- 4) 地域の子育て支援の一つとして取り組んでいる保育所体験は体験者が増え、育児不安を抱えている保護者に対し、保育園の持つ専門性を十分に発揮することが出来ました。
- 5) 人事考課に合わせ、キャリアパスシートを用い、職員一人ひとりに合った人材育成に取り組み始めました。また、園内外の研修に積極的に参加し資質の向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 縦割り保育が少しずつスムーズに行えるようになり、子どもの育ちに添った細やかな援助をすることができました。また、子ども達の中にも定着し始め、自ら考えて行動する場面が見られるようになってきました。
- 2) 縦割り保育や乳児交流を通して思いやりの心や敬う気持ちを育む事が出来ました。
- 3) 保育参観や参加を保護者の就労形態を配慮し随時受け付け、子どもの育ちや園での姿を見ていただき保育への理解にもつなげることができました。
- 4) 小1プロブレム、学級崩壊等の実態を受け、近隣の小学校との連携を図り、就学へのスムーズな対応を行う基盤を作ることができました。
- 5) 小学生(卒園児) 中、高生の体験やボランティアを受け入れ、保育園や保育士の役割について知ってもらう機会を提供する事が出来ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
乳児トイレ工事	800	パソコン2台購入	320
パソコン2台購入	400		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
蛍光灯照明器具ガード取付	750	蛍光灯照明器具ガード取付	854
鉄鋼部分改修工事	1,300	空調修理	757
		鉄鋼部分改修工事	1,263
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
給水管工事	8,900		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		乳児トイレ工事	840

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	41	40	40	40	42	41	41	41	41	41	39	39	486
女児	31	31	30	30	29	28	28	28	28	28	30	30	351
合計	72	71	70	70	71	69	69	69	69	69	69	69	837

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	6	12	13	13	17	10	71
平成21年度	7	11	12	14	11	16	71
平成22年度	7	11	13	15	13	10	69

同援みどり保育園

定員 125 名

稼働率 103.7%

【施設運営状況】

- 1) 前年度に引き続き定員の弾力化を行い、待機児解消に努めました。年度末に園児の引越し等に伴い利用者数が多小減少しましたが、年間を通じて安定的したサービスの提供に努めました。
- 2) 夏の猛暑や年度末の大震災など予測不可能な自然災害や事象に対し、法人・自治体・園長会などよりの情報を得て、職員とも対策を話し合い十分な対応を行いました。
- 3) 利用者アンケートを受審し園の運営状況の把握に努め、今後の課題や改善につなげて「より良い保育園」を目指す基盤を作ることができました。
- 4) 前年に引き続き、地域子育て中のパートナー登録は多く、園の交流の企画に参加いただき楽しい経験を通じて「支援の根拠」として地域に根付きました。
- 5) 引き続きチューター制度により、職員が積極的に人材育成に加わることで効果を得られました。またキャリアパスシートを導入して人材育成計画を作成することで、人事考課と共に職員の資質向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 成長・発達にあった集団ならではの遊びを多く取り入れ、子ども達の友だちを認め合う気持ちや、人との支え合いを大切にしたい保育を心がけました。
- 2) 子ども達が安心して過ごせる生活の場を提供する為に、保育環境を見直し整え施設整備に努めました。
- 3) 保護者に「子どもの成長」を感じていただく「運動会、発表会」や「懇談会」で、子どもたちの生き生きした姿を伝えることに積極的に努めました。
- 4) 長時間保育の園児が多い中職員の体制を工夫して、できるだけ担任と保護者が直接話をする機会を多く作り、よいコミュニケーションに結びつけました。
- 5) 近隣の小学校との交流や学校公開、行事に参加して小学校の状況を把握し、また保育要録等を作成し連携を深めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
小ホール床張替	3,000	小ホール床張替	1,914
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
サンルーフ屋根取付	1,200		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
園庭改修工事	7,294	保育室エアコン	796
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
保育室エアコン	800	ルーフ屋根取付工事	810
		ホール床張替工事	1,840
		保育室エアコン	750

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	70	873
女児	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	56	683
合計	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	126	1556

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	12	19	24	25	25	25	130
平成21年度	12	19	24	25	25	25	130
平成22年度	12	19	24	25	25	25	130

つつじが丘保育園

定員 110名

稼働率 120.7%

【施設運営状況】

- 1) 年度当初より、弾力入所の受け入れを積極的に行い、前年度と比べて、5.9%の増となりました。
- 2) 利用者の権利を尊重しながら、専門的知識、技能を生かし、保育所の役割を果たしました。また、年々保育困難児が増える中、専門機関（3件）に繋がたり、地域の子育て支援に努めました。
- 3) 利用者のアンケートを受審し、保護者の意見を十分に受け止め、多様な保育サービスの改善や充実に繋がりました。
- 4) 職員育成計画に基づき、キャリアパスシートの導入をし、職員育成の充実に努めました。
- 5) 国の目指す「子ども・子育て新システム」の動向の情報収集や学習会に参加しました。また、東北地方太平洋沖地震の影響については、市と連携しながら迅速な対応に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 豊かな心を持った健康で逞しい子どもの育成を目指し、子どもの生きる力の基礎を育てました。
- 2) 園内での行事や日常の保育内容を見直しながら、様々な活動を取り入れることで、子どもたちが、明るく生き生きと過ごせる環境作りに努めました。
- 3) 園外での行事などにも積極的に参加することで、人と仲良くして力を合わせていける社会性、協調性の育成に努めました。
- 4) 近隣の小学校への園児の訪問や小学生の来園を通じて交流し、小学校との連携を図りました。
- 5) 地域との連携では、学童後保育や一時保育の受け入れを積極的に行ない、高齢者施設との世代間交流や園庭開放・子育て支援センターでの出前保育・育児講座などを通して、地域の子育て支援にも努めました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	

プール修理	600	プール修理	390
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
調乳室改修工事	700	園前庭樹木周辺床材補修	299
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
1階テラス改修工事	900	保育室前テラス改修工事	900
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
園庭固定遊具設置	5,000	園庭固定遊具設置	6,063

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	62	63	63	66	66	68	68	67	67	67	67	68	792
女児	63	65	65	67	67	67	67	68	68	68	68	68	801
合計	125	128	128	133	133	135	135	135	135	135	135	136	1593

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	21	20	21	22	21	19	124
平成21年度	21	21	22	22	24	21	131
平成22年度	21	21	23	23	23	25	136

同援さくら保育園

定員 108名

稼働率 111.0%

【施設運営状況】

- 1) 年々増加する待機児解消に向け積極的に弾力受け入れを行い(0・1歳児)稼働率111%となりました。
- 2) 特別保育事業・地域活動事業の充実やPRに努め、また柔軟な受け入れにより保護者の就労支援に繋がりました。
- 3) 保護者や地域の子育て中の方も、子育ての楽しさが味わえたり子育ての工夫などの情報提供が出来るよう育児講座・懇談会・子育て相談・子育て通信・体験保育等の充実を図りました。
- 4) 各研修に職員全員が計画的に参加したり、新人・中堅チューター制度・キャリアパスシートの導入により職員育成に繋がりました。
- 5) 利用者アンケートや苦情要望の改善については、懇談会やお知らせ等で伝え事業や保育内容の充実に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 園の目標である「生きる力を育てる」保育に向け、園だより・クラスだより・懇談会・保育参加・個人面談等を通して伝え共通理解に努めました。
- 2) 縦割り保育や乳幼児クラスの交流、他園との交流、他法人高齢施設との交流、地域の子どもたちとの交流等を通して人との関わりの大切さを知らせるとともに、多くの人との関わりの中で心の豊かさを育てました。
- 3) 日本古来の行事の大切さを知らせたり、年齢発達に合わせた幅広い領域の保育経験の場を提供しその中で個々が得意なことを見出し自信に繋がりました。
- 4) 計画的な研修参加の実施により職員の資質向上につながり、日々の保育、4時間延長保育・休日保育・病後児保育等の充実に努め保護者の就労支援が出来ました。
- 5) 施設の安全点検整備や補修を計画的に実施、あわせてICカードによる入室の整備を

し安全に努めました。また、大災害に備え保護者への連絡体制の整備をしました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
ピアノ購入	500	ユニットプール購入	907
乳児室テラス柵取付工事	900		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
プール購入	900		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
床補修	900	ピアノ購入	500
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	56	57	57	57	58	57	56	56	56	56	56	56	678
女児	64	64	64	64	63	63	63	63	63	63	63	63	760
合計	120	121	121	121	121	120	119	119	119	119	119	119	1438

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成20年度	12	18	18	20	23	19	110
平成21年度	15	20	20	21	19	23	118
平成22年度	15	20	20	21	22	21	119

2 高齢者支援系福祉サービスの経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、並びに地域包括支援センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1) 地域の町会や民生委員等との連携を深め、一人暮らし高齢者の相談や生活支援の他、家族向け介護講習会などを積極的に行い、地域の拠点としての役割に努めました。
- 2) ヘルパー2級養成校の運営を行い、利用者の立場に立ち「個人の尊厳」や「一人ひとりに応じた自立支援」のできる貢献度の高い福祉人材の育成を目指しました。
- 3) 第三者評価機関等による情報開示や多くのボランティアの導入を行い、法令を遵守し施設運営を行いました。
- 4) 質の高いサービスを安定的に提供するため、処遇改善交付金をはじめとする各種助成金を活用し介護従事者の処遇や環境改善を進めました。
- 5) グループ研修や介護職員交換研修の他、各施設が介護職員の技術向上のための研究をおこないました。また、より効率的な介護ソフトを導入し、サービスの向上に繋がりました。
- 6) 利用者本位の個別ケア促進のため、高品質で適正価格の介護用品の選定をおこないました。
- 7) 特別養護老人ホームの経営支援事業の見直しに伴い、努力加算の算定が可能となる体制作りを行いました。これにより、安定的な経営に繋がりました。

(1) 養護老人ホーム

原則 65 歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護しました。

万世敬老園 定員 200 名

稼働率 100.3% 平均年齢 79.0 歳(最高 96 歳 最低 62 歳) 男女比率 11 : 9
平均在所期間 7.1 年(最長 30 年)
年間入所 9 名 主な入所理由(独居、帰来先なし、虐待)
年間退所 10 名 主な退所理由(死亡)

【施設運営状況】

- 1) 措置の理由は、貧困、独居等孤立無縁化、被虐待での緊急の保護を要する利用の継続により年間の稼働率は 100.3%で、昨年度より 0.2%の増加でした。同様の入所依頼と待機も続いています。
- 2) 利用者の高齢化、施設の老朽化から、居室の環境改善として、洗面台・照明器具の取替え及び防災設備の整備を実施し、安全で安心できる生活環境を整備しました。
- 3) 第三者評価では、環境及び生活において、利用者一人ひとりの園内外における利便性や事故防止を初めとする安全対策が計画的に行われ成果を挙げていることが評価されました。
- 4) 職員育成に関しては、高齢者の新たな課題を養護ニーズとして位置づけ、養護版ケアプランをもとに、複数担当制によるケースワークならびに各階フロアーの生活支援、相談を確立させました。

【利用者支援状況】

- 1) 養護の役割としての利用者の社会貢献として、また健康維持のため、個人の持てる

知恵や力を発揮し近隣の保育園や施設での協働活動や、ボランティア活動を推進しました。

2) 第三者評価では、利用者本位の自由な生き方の尊重と同時に、社会人としての自信や自覚は、自主・自立には不可欠とする考え方で生活支援は利用者からも大いに歓迎されているとの評価でした。

3) 緊急的な養護ニーズのある一時保護の入所の受入を積極的に行いました。

4) 生活環境の改善、向上として、居室の洗面台・照明・地デジ対応 TV を設置しました。給食については、利用者の要望を献立に活かし、食事時間の三部制導入でゆとりのある時間を設定しました。

5) 自治会活動では、特に震災後の各委員会を情報収集共有場として適時開催し、利用者の意見要望から最善の生活作りをともに築いてきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
防災設備の整備	6,000	蛇口用節水装置取付	990
小浴場・洗濯室整備	1,500	居室棟ベランダ塗装	995
居室棟ベランダ塗装	1,000		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
居室洗面台配備	10,000	消防用設備移設	5,820
私物庫改修工事	2,000	私物庫改修	1,410
食堂内外塗装・張替工事	1,000		
倉庫改修工事	1,000		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
地デジ対応テレビ購入	5,000	小集会室兼仏間内装改修	2,415
旧事務所改修工事	4,500	小集会室兼仏間電気設備	2,016
小集会室改修工事	1,500	居室洗面台改修	3,570
居室照明交換	10,000		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
食堂トイレ外改修工事	3,500	昭和郷変電所部品交換	3,356
		居室照明器具取替	6,266
		地デジ対応テレビ購入	2,682

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	109	109	109	109	109	109	109	109	110	110	110	110	1312
女性	91	91	91	91	92	92	92	91	90	91	91	92	1095
合計	200	200	200	200	201	201	201	200	200	201	201	202	2407

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳						
		~64	~69	~74	~79	~84	~89	90~
平成20年度	200	1	18	49	56	37	28	13

平成 21 年度	200	4	21	44	54	39	28	10
平成 22 年度	202	3	18	37	57	45	28	14

(2) 軽費老人ホーム

原則 60 歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を施設長との利用契約により無料または低額な料金で、日常生活に必要な便宜を供与しました。

なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されました。

A型 サンホーム 定員 50 名

稼働率 100.0% 平均年齢 83.6 歳(最高 104 歳 最低 67 歳) 男女比率 19 : 31
 平均在所期間 6.2 年(最長 22 年)
 年間入所 6 名 主な入所理由(独居生活の不安)
 年間退所 6 名 主な退所理由(別施設へ入居)

【施設運営状況】

- 1) 定例の接遇会議において、利用者個々人の支援について、話し合い援助計画を立てました。
- 2) 業務の円滑化を図るため、日々の具体的な動きや導線等のマニュアルを作成しました。
- 3) 毎月、施設内外の講師による公開講座を実施しました。多くの利用者並びに地域の方々の参加があり共に学び合いました。
- 4) 施設利用の問い合わせ、見学希望に対し、常時対応し申し込みを行った結果、満室で推移しました。
- 5) 職員の資質向上の為、年間計画に基づき各種研修会に積極的に参加し、報告会を実施して知識の共有化を図りました。

【利用者支援状況】

- 1) 年 2 回家族会を実施し、施設状況や利用者の生活状況などを見ていただく機会を設け、併せて講演会などを行いました。
- 2) 住環境の保全の為、生活環境を整え、利用者、外部来園者などに注意を促し、感染症予防に努めました。
- 3) 地域に開かれた施設として、利用者の持てる力を発揮する為、逆ボランティアを推進し、他施設との連携に努めました。
- 4) 利用者個々人の健康維持増進の為、利用者全員の身体状況を把握し、個別的栄養改善を行いました。
- 5) 日常生活困難な利用者に対しては、必要な外部サービス、保証人、職員と連携を図り安全に暮らしていただけるよう配慮しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第 1 期(4~6 月)		第 1 期(4~6 月)	
調理用倉庫購入	180	調理用倉庫	133
テレビ購入(50 インチ)	500	テレビ購入(50 インチ)	454
第 2 期(7~9 月)		第 2 期(7~9 月)	

業務用冷蔵庫購入	600	業務用冷蔵庫購入	540
食堂用テレビ購入	220		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
ナースコール設置	6,500		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		ナースコール設置	4,731

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	19	19	19	19	19	20	20	20	19	19	19	20	232
女性	31	31	31	31	31	30	30	30	31	31	31	30	368
合計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年 度	実人員	年 齢 別 内 訳						
		~64	~69	~74	~79	~84	~89	90~
平成20年度	50	1	3	8	20	11	4	3
平成21年度	50	1	2	7	17	15	6	2
平成22年度	50	0	1	2	8	17	14	8

B型 ライトホーム 定員 50名

稼働率 82.5% 平均年齢 81.6歳(最高 93歳 最低 67歳) 男女比率 6:35
平均在所期間 11.0年(最長 26.0年)

年間入所 5名 主な入所理由(居住困難)

年間退所 5名 主な退所理由(別施設へ入居、在宅復帰)

【施設運営状況】

- 1) 年度当初と比べて年間入退居者数は同じですが、在園月数の違いで昨年度比で稼働率は低下しました。
- 2) 財務面においては、年度当初予定していた全体的なテレビアンテナ工事を未対応の居室への対応に見直し、経費削減に努めました。
- 3) 昨年度に引き続き第三者評価を受審し、積極的な情報公開に努めました。
- 4) 職員の育成においては、マニュアルの整備、チャートを利用した業務標準化に努め、さらに改善等に結びつけるルール等を整備しました。
- 5) 地域との関わりでは、施設外からの相談等にも対応し機能強化に努めました。また地域包括支援センター等との連携に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 日常生活支援においては、積極的な見守りに努め、早急に体調の変化に対応しました。
- 2) 行事企画に幅を持ち、季節の移り変わり、四季折々に行事を織り交ぜ、日々の活動が楽しめるよう支援に努めました。
- 3) 個別支援においては個人面談等で、個別ニーズの把握に努め、ヘルパー等外部の介護力を使用し自立した生活の継続に努めました。
- 4) サービス推進費加算対象である介護予防事業に力を入れて取り組み、年間で延べ264名に対し実施いたしました。(昨年度比2.0倍)
- 5) 退去される利用者へのアフターフォローに努め、個人、家族、関係機関との連携に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
テレビコンセント電源改修工事	420		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		変電所工事	426

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
女性	36	36	36	36	35	35	34	33	33	35	37	37	423
合計	42	42	42	42	41	41	40	39	39	41	43	43	495

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年 齢 別 内 訳						
		~64	~69	~74	~79	~84	~89	90~
平成20年度	43	1	1	5	9	13	11	3
平成21年度	41	0	2	4	8	9	15	3
平成22年度	43	0	2	4	9	11	13	4

(3) 特別養護老人ホーム

老人福祉法第11条第1項第2号の措置にかかる方(原則65歳以上であって、身体上または精神上著しい障害があるために常時の介護を必要とされ、かつ居宅においてこれを受けることが困難であり、やむを得ない事由により介護保険法に規定する介護老人福祉施設に入所することが著しく困難であると認められる方)または介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給にかかる方等を養護しました。

フジホーム 定員100名(短期入所 専用4名・空床利用6名)

稼働率96.9% (短期入所154.0%・空床利用含む) 平均要介護度 3.75
 平均年齢87.1歳(最高107歳 最低62歳) 男女比率1:4
 平均在所期間3.9年(最長16.0年)

年間入所 16名 主な入所理由(在宅生活が困難)
 年間退所 15名 主な退所理由(死亡、長期入院)

【施設運営状況】

- 1) 入所の迅速化を目指すと共に、ショ-トステイについても、利用者、家族の要望に沿って中長期の希望にも対応する努力をおこない、前年度より稼働率を0.1%ほどアップさせる事ができ、収支状況も安定しました。
- 2) 今年度より、昭島市の委託にて包括支援センタ-を運営することとなり、市民の方々

のさまざまな介護の相談、啓発に努めました。緊急一時保護事業にも取り組みました。
 3) 今年度は、施設の情報公開、利用者調査、家族調査に取り組み、利用者の方々が生活しやすい施設となるよう努力すると共に、地域に向けて開かれた施設を目指しました。
 4) 地域との交流会、地域介護事業者、民生委員等との懇談会、地域防災協定による地域との合同防災訓練の実施等、防災訓練、夏祭り等の交流事業を実施し地域の拠点施設として施設理解に繋がるよう努力しました。
 5) サービス向上のために、介護技術、接遇技術の向上にプロジェクトチームを作って取り組むと共に、介護雇用プログラムによる職員育成に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1) 今年度も「寄り添う介護」を基本方針としてサービスの原点である接遇マナーについて積極的に研修会・勉強会を実施して職員全体の質の向上に努めました。また、その成果をアクティブ福祉 in 東京での発表に繋げました。
- 2) 新たな取り組みとして夏祭り、文化祭・運動会、初詣などご利用者が主体的に参加できる行事を実施することで余暇の充実と同時にご家族、地域のボランティアとの更なる関係性の構築に努めました。
- 3) 重度化が進んでいるご利用者の健康維持については定期的に歯科医師の評価、助言をもとにケアの向上と標準化に取り組んできました。また新たに訪問歯科を依頼してより充実した支援体制を築きました。
- 4) 専属の施設ケアマネジャーを中心に、よりご利用者のニーズに沿ったケアプランとするためにアセスメント会議を定期的を開催して、プランに基づいた個別ケア実践のための体制を作りました。
- 5) 地域資源の活用については行事等の活動を通して既存のボランティアとの連携・協力体制をさらに深めながら、新たなボランティアも積極的に受け入れご利用者の生活の活性化に取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
冷温水器発生装置部品交換	2,360		
パソコン7台購入	1,050		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
パーテーション・ブラインド(リハビリ室)	1,000	冷却水ポンプ交換	1,659
		介護ソフト入替	6,206
		サーバー購入	1,589
		FAX 複合機	994
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
外壁補修工事	3,000	冷温水発生器定期部品交換	2,446
コピー機購入	1,000	介護ソフト入替追加分	1,028
介護ソフト入替	6,000	パソコン	998
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		昇降機 No.1 修繕	924
		送迎用車両	3,330

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	22	22	20	19	19	21	21	20	20	21	21	19	245
女性	75	75	74	75	76	74	72	76	76	77	75	74	899
合計	97	97	94	94	95	95	93	96	96	98	96	93	1144

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	100			5	13	27	30	25	100
	2056	0	100	255	214	490	617	380	2056
平成21年度	97			4	9	30	39	15	97
	2285	0	19	442	219	797	579	229	2285
平成22年度	93			3	7	29	28	26	93
	2248	2	3	201	488	629	687	238	2248

1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在） 2 下段は、短期入所生活介護延人数

ニューフジホーム 定員100名（短期入所 専用4名・空床利用6名）

稼働率 95.1%（短期入所 108.0%・空床利用含む） 平均要介護度 3.40

平均年齢 86.1歳（最高99歳 最低61歳） 男女比率 1：4

平均在所期間 4.2年（最長24年）

年間入所 23名 主な入所理由（自宅で介護が困難、）

年間退所 22名 主な退所理由（死亡、長期入院等）

【施設運営状況】

1) 入所の迅速化を図るとともに高齢者虐待防止法による措置受入れ等稼働率向上に努めましたが、5月の風邪蔓延に伴う短期受入中止が響き、特養、短期合算の稼働率は95.1%となり、対前年度比1.4%増に止まりました。

2) 正規看護師を4名、非常勤看護師を6名配置して看護体制を充実するとともに、新たに看護体制加算()口を、また施設口腔ケア・マネジメント計画を策定し口腔機能維持管理加算も取得して収入増を図りました。

3) 園広報誌のタイトル及び内容を親しみやすくビジュアルな内容に一新するとともに広報誌コンテストに応募するなど、ご家族や地域などへ、施設での支援内容を積極的に発信しました。

4) 週2回の訪問歯科の活用など口腔ケアの充実に努めた結果、誤嚥性肺炎の罹患率が大幅に減少しました。また、外部研修の成果に基づき、ファイバー飲料を活用したオムツはずしの試行を開始しました。

5) 社会福祉士、介護福祉士及び看護師の実習を積極的に受け入れて将来の福祉人材の育成に努めるとともに、実習担当職員の資質向上を図りました。今年度は、介護福祉士養成校の閉鎖が相次ぎ受入実績は昨年度を下回りました。

【利用者支援状況】

1) ナースコールシステム及び2階特殊浴槽を更新し、利用者にとって安全で快適な生活を拡充するとともに、介護労働環境の向上を図りました。

2) 今年度も約1,200名のボランティアの方々へ支援していただき、誕生会外出等と併せて、利用者へ様々な園内外の活動を提供し、生活の質の向上に努めました。

3) 看護体制の充実を図り、胃ろう増設者や喀痰吸引が必要な利用者を数多く受け入れ

東京都経営支援補助金の医療強化対応支援加算を認定されました。

4) 介護ソフトを入れ替え、携帯端末からの記録入力を可能にするなど介護業務のスリム化を図りました。

5) サービスマナー委員会による接遇マナーのセルフチェックを定期的に行うなど、職員全体の意識改革に努めました。福祉サービス第三者評価の利用者調査において、「職員の対応」は高い評価を得ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
寝台灯設置工事	1,000		
食堂等照明工事	500		
洗面台改修工事	500		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
床改修工事	4,000	介護報酬請求管理システム	5,046
ナースコール改修工事	12,000	ナースコール設置工事	9,286
		ベッド照明取替工事	998
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
特殊浴槽2台購入	16,000	特殊浴槽1台購入(2F)	8,295
介護ソフト入替	6,000	電動ベッド4台購入	1,149
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
電動ベッド購入	600	浴室 ¹ 福祉 ² -ター取替(3カ所)	1,661
低床ベッド購入	600	2階車椅子対応型洗面台設置工事	601
		配膳室冷蔵庫入替	441

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	16	14	15	17	17	16	16	16	16	16	16	16	191
女性	79	81	83	82	83	82	84	84	85	83	84	81	991
合計	95	95	98	99	100	98	100	100	101	99	100	97	1182

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	98			8	12	32	30	16	98
	2004			101	262	927	480	234	2004
平成21年度	99			7	12	31	35	14	99
	1782			176	186	1080	286	54	1782
平成22年度	97			7	15	26	24	25	97
	1577			319	364	524	277	93	1577

1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在) 2 下段は、短期入所生活介護延人数

原町ホーム 定員 50 名（短期入所 専用 2 名・空床利用 4 名）

稼働率 97.3%（短期入所 147.5%・空床利用を含む） 平均要介護度 3.90
 平均年齢 88.0 歳(最高 104 歳 最低 64 歳) 男女比率 1:5
 平均在所期間 5.6 年(最長 25.8 年)
 年間入所 10 名 主な入所理由（在宅での生活が困難なため）
 年間退所 9 名 主な退所理由（死亡 長期入院）

【施設運営状況】

- 1) 「その人らしい」生活の実現を目指して努力し、年度末にかけ短期利用者も含めて入院者が増加しましたが、年間稼働率 97.3%を確保できました。
- 2) 原町ホームと連携している各事業所（デイサービス・居宅）とは、特にショートステイや対応困難な事例の際に各相談員が話し合い、出来るだけ受け入れを図って来ました。
- 3) 実習生やボランティアの積極的受け入れに努めました。ボランティアについては、今後どのように新規の方と引き継いでいくのか検討が必要です。
- 4) 医療的ケアの必要な方の利用希望は年々高まっており、原町ホームとしても新宿区と連携し、積極的に受け入れました。また、研修等に参加し、ケアの向上につなげました。

【利用者支援状況】

- 1) 「その人らしい」生活の実現のため、利用者から個別の希望を伺い、個別の外出支援を実施しました。巣鴨棘ぬき地蔵、プロ野球観戦等を行いサービス向上につなげました。
- 2) 利用者満足度の向上の一環として、「もちあげない介護」に取り組み、移乗介助時の利用者の不安、負担の軽減に繋げることができました。
- 3) 従来から実施しているスウェーデン式認知症緩和ケア（ハプティックセラピー）を行い、認知症利用者へのケア向上に努めました。
- 4) 接遇マナーのさらなる向上を目指した研修を行い、安心感、親切感を感じていただけるよう努力しました。
- 5) ご家族からの要望に沿い、看取り介護に取り組みました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
空調機器分解整備	8,000		
居室内床張替	960		
第 2 期（7～9 月）		第 2 期（7～9 月）	
居室内床張替	960	介護ソフト入替	4,334
パソコン	2,000	パソコン購入	448
		自家発電設備蓄電池交換	556
第 3 期（10～12 月）		第 3 期（10～12 月）	
液晶テレビ購入	750	エレベーターモーター工事	997
居室内床張替	960	チラー冷媒漏れ補修工事	983
ギャッジベッド買換え	750		
温冷配膳車 2 台購入	2,000		

介護ソフト入替	6,000		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
	607	液晶テレビ購入	577
		ギャッジベッド買換え	340
		空調機器分解整備	7560
		居室内床張替	139

年間利用状況(月初人員数:特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	7	6	7	7	7	6	7	6	8	8	8	8	85
女性	41	40	42	42	39	40	41	42	41	42	40	42	492
合計	48	46	49	49	46	46	48	48	49	50	48	50	577

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	50	0	0	4	3	9	13	21	50
	1013			40	135	274	266	298	1013
平成21年度	49	0	0	4	1	8	17	19	49
	1074			16	30	208	416	404	1074
平成22年度	50	0	0	3	4	6	19	18	50
	1077			18	87	298	303	371	1077

1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在) 2 下段は、短期入所生活介護延人数

ゆたか苑

定員 50 名(短期入所 専用 4 名・空床利用 4 名)

稼働率 98.3% (短期入所 118.9%・空床利用を含む) 平均要介護度 3.96
 平均年齢 87.2 歳(最高 103 歳 最低 67 歳) 男女比率 1:11
 平均在所期間 4.3 年(最長 15 年)
 年間入所 6 名 主な入所理由(在宅生活が困難なため)
 年間退所 5 名 主な退所理由(死亡)

【施設運営状況】

- 第三者調査機関による利用者聞き取り調査及び家族アンケート調査の実施をおこないました。また、区民による介護相談員の定期的な訪問も年間 24 回に上りサービス向上に努めました。
- 地域町会との災害時応援協定の締結を継続し、災害時の安全を担保。また 22 年度は豊島区内における温室効果ガス排出量の削減に向けての連携・協力の仕組みづくりに努め、「豊島区 CO2 削減モデル事業所」として広く紹介されました。
- 平成 22 年度厚生労働省の老人保健健康増進等事業の「認知症に伴う食行動関連障害に対する支援ガイドラインに関する調査研究」などに協力するとともに、東京都認知症研修に積極的に参加し、認知症ケアの向上に努めました。
- 利用者のご要望に専門職として応えていけるよう、毎月の勉強会に医師や大学教授の講義を取り入れるなど施設内研修の充実を図り、マンツーマンケア、緩和ケア、看取りケアと利用者満足度の高いサービスの実践に繋がっています。
- 地域町会等の協力のもと「脳いきいき教室」を開講。要介護高齢者の介護予防に向けた取り組みをおこないました。また、ひとり暮らし高齢者のため、「ホームでランチ」

交流会を定期的で開催し、地域コミュニティケアの実践をおこないました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者、ご家族参加型のケアプランを作成し、サービスの質の向上に努めました。
- 2) 安全管理委員会を定期的で開催し、リスクマネジメントの実践をおこないました。その他感染症に対する教育・指導の強化を図り、安全安心なサービス提供に努めました。
- 3) 昨年度に引き続き身体拘束0を継続達成いたしました。
- 4) 「利用者のなまの声」を、余暇活動の充実に繋げました。外出支援では河口湖と越後湯沢にご家族参加型の一泊旅行を行い、魅力ある介護の実現を果たせました。
- 5) 権利擁護に関する各種研修会の参加や区権利擁護ネットワーク会議へ出席、施設オンブズマンによる定期的な利用者面接など「いつまでも自分らしい生活を送り続けたい」という気持ちに応えられるよう努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
1期内装工事(2階居室)	800	1期内装工事	595
		ベットマット交換	539
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
2期内装工事	800	2期内装工事	865
ベットマット交換	600	介護ソフト入替	5,259
食事テーブル購入	600		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
汚物処理機購入	900	3期内装工事	637
食器洗い洗浄機購入	900		
介護ソフト入替	6,000		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
介護浴槽設置	4,500	食器洗い洗浄機	882
		既存照明改修更新(省エネ対策)	4,260

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	46
女性	44	45	42	44	43	44	44	46	46	46	46	45	535
合計	48	49	46	47	46	48	48	50	50	50	50	49	581

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	49				1	17	18	13	49
	1591				77	663	705	146	1591
平成21年度	48					14	21	13	48
	1609			25	124	680	505	275	1609

平成 22 年度	49				2	15	15	17	49
	1436			40	187	629	216	664	1736

1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年 3 月 1 日現在） 2 下段は、短期入所生活介護延人数

ひかり苑 定員 50 名（短期入所 専用 4 名・空床利用 5 名）

稼働率 99.1%（短期入所 98.2%・空床利用を含む） 平均要介護度 3.90
 平均年齢 85.0 歳(最高 101 歳 最低 60 歳) 男女比率 2 : 5
 平均在所期間 4.4 年（最長 13 年）
 年間入所 8 名 主な入所理由（在宅生活が困難なため）
 年間退所 8 名 主な退所理由（死亡、長期入院）

【施設運営状況】

- 1) コンプライアンス及び根拠に基づいたサービス提供を検証するため、第三者評価機構による利用者アンケートを実施して、個別ケアに繋がりました。
- 2) 介護報酬請求・介護記録ソフトを変更する際、介護記録の入力手順や記録方法等の再検討を図り、効果的なサービス提供手順書を作成しました。
- 3) スケジュール管理については、ビジネスマナー等の施設内外の研修参加により、業務進捗管理等の徹底を図りました。
- 4) サービスの質の向上については、自施設の課題解決をするため東村山市内の施設と交換研修参加により PDCA を実践して、サービスの質の向上・人材育成に繋がりました。
- 5) コスト削減に関しては「電力の見える化」を予定していましたが平成 24 年度に空調設備関係の新規改修工事を計画しており省エネルギー対策は次年度に延期しました。

【利用者支援状況】

- 1) 根拠に基づいたサービスについては、様々なサービスを提供する際、その目的・効果・手順・達成時期を明確化にして、進捗状況を検証しました。
- 2) 利用者本位のサービスについては、利用者に安全・安心な「持ち上げない介護」に関して、個別移乗手順書により有効性を検証しました
- 3) 利用者の有する能力に応じたサービスについては、デイサービスが導入している音楽活動「ブンネ法」の実践により、新しい自立支援に繋がりました。
- 4) 個別援助の実践については、利用者の個別ニーズに対応するため、公共交通機関を使用した 1 日外出（お墓参り等）は顧客満足（生きがい）に繋がりました。
- 5) 顧客満足度については、利用者の個別心身状況に対応するため、利用者・理学療法士・機能訓練指導員等と椅子・テーブルの選択を行い、食事環境の整備を図りました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
調理機プラスチック購入	2,000	調理機材プラスチック購入	1,730
コピー複合機交換購入	990	コピー複合機新規購入	999
第 2 期（7～9 月）		第 2 期（7～9 月）	
パソコン 6 台・サーバー 1 台購入	2,800	介護ソフト新規導入	4,195
		パソコン（4 台）	649
		汚物除去機	840
第 3 期（10～12 月）		第 3 期（10～12 月）	

ナースコール交換工事	7,000		
介護ソフト入替	5,000		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		ナースコール新規交換工事	4,246
		パソコン(3台)	746

年間利用状況(月初人員数:特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	13	13	13	15	15	16	16	16	15	15	15	14	176
女性	38	38	36	36	35	35	34	34	34	35	35	36	426
合計	51	51	49	51	50	51	50	50	49	50	50	50	602

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	51			2	6	12	12	19	51
	1327	5		9	131	626	223	333	1327
平成21年度	50			1	7	9	13	20	50
	1350			5	64	485	256	540	1350
平成22年度	50				5	14	14	17	50
	1418			31	3	317	481	586	1418

1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在) 2 下段は、短期入所生活介護延人数

(4) 老人デイサービスセンター

老人福祉法第10条第1項第2号の措置にかかる方(原則65歳以上であって、身体上または精神上著しい障害があるために日常生活を営むのに支障があり、やむを得ない事由により介護保険法に規定する通所介護を利用することが著しく困難であると認められる方)または介護保険法の規定による通所介護に係る居宅介護サービス費の支給にかかる方等へ、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

フジ・デイサービスセンター 定員25名

稼働率 82.4% 1日平均利用者数 20.6名 男女比率 1:4
平均年齢 83.0歳(最高103歳 最低67歳)

【施設運営状況】

- 1) 職員育成方法を強化することで、サービスの質の向上を図りました。新人教育をしながら、指導職員同士でも、より良い指導方法を模索し合うようなシステム作りをし、職員のスキルアップに繋がりました。
- 2) 保険者、地域保健、医療、福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。
- 3) 顧客満足向上に努め、選ばれる施設を目指すことで、利用者延べ数の増員に繋がり、より地域に貢献することができました。

【利用者支援状況】

- 1) 個々の利用者の状況に合ったサービス計画を作成・実行し、よりきめ細やかなサービスを提供できるよう尽力しました。
- 2) 個人が、人として尊厳を持って、家庭や地域の中で障害の有無や年齢に関わらず、その人らしい安心感のある生活が送れるように自立支援を行いました。
- 3) レクリエーションに関しては、ボランティアを多いに活用し、地域だけではなく、インターネットを使用しピンポイントで臨時活用することで、多種多様な利用者のニーズを充足させました。

【施設整備状況】

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
車両	3,500		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
パソコン購入	100		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
リネン一式購入	100		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	120	115	117	124	115	104	116	113	98	90	91	116	1319
女性	421	417	425	450	432	432	440	438	402	374	379	417	5027
合計	541	532	542	574	547	536	556	551	500	464	470	533	6346

利用者状況推移(各年度延人数)

年度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	介護	238	221	1731	1903	976	333	88	5490
	送迎	476	246	3265	3791	1870	642	176	10466
	食事	238	221	1731	1903	927	333	88	5441
	入浴	101	33	373	214	633	152	0	1506
	機能訓練	0	0	79	0	52	11	0	142
平成21年度	介護	218	264	2274	1616	1114	479	110	6075
	送迎	401	514	4110	3102	2223	948	211	11509
	食事	218	264	2274	1616	1065	479	110	6026
	入浴	41	0	469	374	479	144	92	1599
	機能訓練	0	0	179	0	119	27	0	325
平成22年度	介護	224	347	2256	1670	1265	516	68	6346
	送迎	445	604	4471	3000	2521	1025	136	12202
	食事	224	347	2256	1670	1265	516	68	6346
	入浴	0	0	437	358	501	129	54	1479

度	機能訓練	0	0	143	38	108	0	0	289
---	------	---	---	-----	----	-----	---	---	-----

(注) 1「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。

2「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

フジ・デイホーム 定員 10 名

稼働率 91.1% 1日平均利用者数 9.1名 男女比率 1:3
平均年齢 81.0歳 (最高 104歳 最低 54歳)

【施設運営状況】

- 1) 昨年度末に利用者が増え、その後安定して通所されたので、稼働率が高く安定しました。
- 2) おやつ作りやクリスマスパーティー、菖蒲湯、柚子湯などデイホーム独自の行事や、特養、デイサービスと合同で夏祭りを行い、大勢で楽しむなど利用者満足に繋がりました。
- 3) あきしま地域ネットワークなど地域の活動に積極的に参加し、同業種他事業所や特に市内の居宅支援事業所と交流をし良い関係を築けました。
- 4) 介護を学ぶ学生や中学生の職場体験を受け入れ、地域に対し開かれた施設を目指しました。
- 5) 新規職員に対してはまず最初に相談員が一貫して主な業務を指導しました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者個々のニーズに合った様々な活動を用意し、提供できました。
- 2) 認知症の緩和ならびに身体機能の低下を防ぐために様々な体操やボールを使った運動など動的活動と、創作活動などの静的活動をバランスよく組み合わせ提供しました。
- 3) 小規模デイの特徴を利用して、一般型デイサービスでは行くことが困難な遠方の利用者にも対応しました。
- 4) 「デイホームなら入浴できる」という印象を持って頂けるよう入浴希望される利用者のほとんどに対応できました。
- 5) 利用者に対し職員がほぼ2対1以上の割合となるよう努め、実習生なども積極的に活用しました。

【施設整備状況】 特になし

年間利用状況 (月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	66	63	66	62	58	63	61	60	59	63	57	61	739
女性	167	160	182	199	193	175	171	176	160	167	155	163	2068
合計	233	223	248	261	251	238	232	236	219	230	212	224	2807

利用者状況推移 (各年度延人数)

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成20年度	介護		367	458	904	425	227	2381
	送迎		367	458	904	425	227	2381
	食事		367	458	904	425	227	2381
	入浴		14	310	454	277	226	1281
	機能訓練		0	0	0	0	0	0
平成21年度	介護		194	600	888	330	197	2209

平成21年度	送迎			194	600	888	330	197	2209
	食事			194	600	888	330	197	2209
	入浴			40	240	496	191	213	1180
	機能訓練			0	0	0	0	0	0
平成22年度	介護			78	1135	980	398	216	2807
	送迎			78	1135	980	398	216	2807
	食事			78	1135	980	398	216	2807
	入浴			13	896	421	131	212	1673
	機能訓練			0	0	0	0	0	0

(注) 1 「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。
2 「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

原町高齢者在宅サービスセンター 定員 15 名

稼働率 93.1% 1日平均利用者数 13.9名 男女比率 1:9
平均年齢 82.0歳 (最高 91歳 最低 63歳)

【施設運営状況】

- 1) 通所利用のニーズは高く、稼働率は年間を通じて高く、21年度 90.9%に対し 93.1%と高い稼働率を維持しました。
- 2) 認知症利用者の症状の緩和を心がけ、ハプティックセラピーを本年度も実施し、認知症の BPSD の緩和ケアの向上に努めました。
- 3) 8月～10月にかけて第三者評価を受審しました。医療的ケアの実用な方にも手厚い送迎を行っている点、高い介護度の方にも負担のない生活リハビリが充実している、またスウェーデン式コミュニケーションを実施している点を評価されました。
- 4) 地域密着型サービスとして、地域のケアマネージャーの信頼も厚く、認知症高齢者世帯の在宅サービスの維持改善を支援しました。原町ホーム、新宿区榎町高齢者総合相談センターや原町ホーム居宅介護支援事業所との連携を密にし支援を行いました。
- 5) 職場内研修を定期的に行い、認知症状の理解、対応、コミュニケーションの取り方、記録の書き方、接遇について学習しました。

【利用者支援状況】

- 1) 新宿区においては、独居認知症高齢者世帯、老老介護世帯、また軽い認知症の方が重い認知症の方の介護を行っている認認介護世帯が増加しています。地域連携を図り、多様な社会資源とつながり、在宅生活を支援しました。
- 2) 医療と介護の連携を図り、医療的ニーズの高い利用者に対応するため、訪問看護、在宅訪問医療と、情報の共有、連携したサービスを実現しました。
- 3) 根拠のある認知症ケアを行うため、その BPSD 症状と中核症状の把握をし、認知症状態をアルツハイマー型、脳血管性型、前頭葉側頭型で特性を理解し、根拠あるケアを行いました。
- 4) 送迎については、新宿区榎町の特性（バリアフリーでない場所が多い、坂が多い）を考慮し、安全、安心に行うようにし事故のない移動介助を行いました。
- 5) 認知症高齢者の抱える苦痛を職員が理解し、緩和するために、スウェーデン式緩和ケアを（ハプティックセラピー、ブンネ法など）取り入れました。

【施設整備状況】 特になし

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	44	42	30	48	56	69	60	60	61	68	58	48	644
女性	317	329	334	346	333	311	305	315	267	277	245	264	3643
合計	361	371	364	394	389	380	365	375	328	345	303	312	4287

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	介護			490	166	1322	807	952	3737
	送迎			980	332	2644	1614	1904	7474
	食事			490	166	1322	807	952	3737
	入浴			490	126	1322	807	763	3508
	機能訓練			490	166	1322	807	952	3737
平成21年度	介護			709	423	1177	591	1299	4199
	送迎			1418	846	2354	1182	2598	8398
	食事			709	321	1177	591	1197	3995
	入浴			709	423	1177	591	707	3607
	機能訓練			709	423	1177	591	1299	4199
平成22年度	介護			213	365	1603	568	1538	4287
	送迎			426	730	3206	1136	3076	8574
	食事			213	365	1603	568	1270	4019
	入浴			213	365	1093	568	1538	3777
	機能訓練			213	365	1603	568	1538	4287

(注) 1「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。

2「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

東大和市ふれあいデイセンターひかり苑 定員 12名

稼働率 96.0% 1日平均利用者数 9.1名 男女比率 1:2
平均年齢 78.0歳（最高92歳 最低58歳）

【施設運営状況】

- 1) コンプライアンス及び根拠に基づいたサービス提供を検証するため、開設以来初めての第三者評価機構による第三者評価を実施しました。
- 2) 効果的なサービス提供については、業務マニュアルの充実を図るための見直しを定期的に行いました。他法人への施設間交換研修に参加して効果的な見直しを実現できました。
- 3) 高品質なサービス提供については、スウェーデンの先駆的な音楽活動「ブンネ法」の研究発表の裏付けとして、精神面・身体面の維持向上を検証をしました。
- 4) 計画的な職員研修については、施設内研修・施設外研修（法人研修含）・他法人への施設間交換研修等に参加する際、課題抽出から課題解決のPDCAの検証を実施しました。
- 5) 利用率の向上については、居宅介護支援事業所に対しての定期的な訪問活動、ホームページや広報誌での宣伝活動の効果なく、目標利用率8%ダウンの78%に留まりました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者本位サービス提供については、個別ケアの充実を図るため、地域住民ボランティア、地域高等学校の学生ボランティアを導入して、個別ニーズへの対応を実践しました。
- 2) 利用者の資する能力に応じた自立支援については、ブンネ法の音楽活動の実践を検証するため、サマーコンサート出演等により利用者の自信・満足感に繋がりました。
- 3) 認知症ケアについては、「ハプティックセラピー」や「ブンネ法」音楽活動の充実を図り、利用者の心身機能の維持向上、認知症緩和ケアに繋がりました。
- 4) 家族・関係機関との連携については、ホームページを随時更新、広報誌のもみの木やデイ便りを毎月交互に発行して、家族・関係機関等と情報の共有化を図りました。
- 5) 安全・快適な送迎サービスについては、全送迎車両にドライブレコーダーを搭載して、安全運転教育の強化を図ると共に、定期的な送迎ルートの見直しを図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
		介護ソフト入替	907
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
介護ソフト入替	1,000		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	104	88	98	77	64	77	72	64	59	69	63	56	891
女性	153	164	170	179	177	160	153	158	138	148	146	172	1918
合計	257	252	268	256	241	237	225	222	197	217	209	228	2809

利用者状況推移(各年度延人数)

年度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成20年度	介護	0	0	415	134	1045	622	577	2793
	送迎	0	0	415	134	1045	622	577	2793
	食事	0	0	415	134	1045	622	577	2793
	入浴	0	0	226	80	398	323	209	1236
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
平成21年度	介護	0	0	292	112	1286	1054	350	3094
	送迎	0	0	292	112	1286	1054	350	3094
	食事	0	0	292	112	1286	1054	350	3094
	入浴	0	0	139	63	506	509	98	1315

度	機能訓練	0	0	181	79	876	793	249	2178
平成22年度	介護	0	0	344	316	1316	603	230	2809
	送迎	0	0	344	316	1316	603	230	2809
	食事	0	0	344	316	1316	603	230	2809
	入浴	0	0	103	99	678	315	20	1215
	機能訓練	0	0	219	214	934	434	134	1935

(注) 1 「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。

2 「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

(5) 地域包括支援センター

地域において自立した日常生活を営むことができるよう、介護予防や保健医療の向上、権利擁護への支援など、総合的に福祉の増進を図るため、包括的かつ継続的に支援することを目的として下記の事業を行いました。

新宿区榎町高齢者総合相談センター

【施設運営状況】

- 1) 今年度機能強化をはかり、相談支援体制を厚くしました。職員も5人から9人に増員し、相談件数は前年比48%増、訪問件数は55%増となりました。
- 2) 地域連携のための会議の開催を倍増し、地域ネットワーク作りの強化を図りました。
- 3) 昨年から継続して行なっている、認知症サポーター講座を年3回開催しました。(牛込理美容組合・社協ボランティア講座・早稲田南町地域交流館)
- 4) 今年度より、特別養護老人ホームの入所申込みの申請の窓口を行なっています。新規・更新と併せて年間44件の申請を行いました。
- 5) 予防プラン作成と総合相談業務を分けたことにより、昨年より給付件数が259件増加しました。

【利用者支援状況】

- 1) 権利擁護では、虐待の通報や区長申し立の法定後見人の相談が増え、その対応に追われましたが各関連機関と連携し、迅速に対応しました。
- 2) 独居と高齢者世帯が半数を超える地域であるため、孤独死防止のための意見交換会を各関係機関を集めて開催し、孤独死防止に向けて各関係機関で連携していくことを確認しました。
- 3) 今年度より認知症連携担当を置き、今後増えていく認知症対策について医療機関と連携し、認知症の家族介護者教室を新たに開催しました。
- 4) 今年度より医療連携担当者を配置し、各医療機関と居宅支援事業者との連携のための橋渡しとして、東京厚生年金病院との交流会を企画し開催しました。
- 5) 3月に起きた地震では、災害要援護者名簿により民生委員に訪問を依頼し、連絡の取れない方の安否確認をセンターで行ないました。今後の連絡方法や役割等課題も残りましたが、連携を取り合うことを再確認しました。

【施設整備状況】 特になし

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成			対象者年齢別内訳					
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域	～64	～74	～84	～94	95～	不明
					要支援1	要支援2	支援事業						
平成20年度	41	1711	236	236	768	749	122	25	512	1112	539	35	0
平成21年度	69	1852	170	278	850	776	97	43	381	977	572	55	60
平成22年度	189	2106	277	459	1054	856	99	88	495	1236	798	48	0

（注）相談件数は重複あり。

昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく

【施設運営状況】

- 1) 地域包括ケア体制を担う相談機関となるよう、積極的に民生委員、老人会・自治会と連携しネットワーク作りを行いました。民協にも会合時には積極的に参加しアピールを行い、12月からは毎月定期的に自治会・老人会の集まりに参加しています。
- 2) 社会福祉士・主任ケアマネ・保健師の3職種のみならず、中部・東部・西部の三包括で連携し、各専門職で定期的に集まり、第4期昭島市介護保険事業計画に沿った計画実施に取り組みました。
- 3) 生活機能の低下を予防するべく、適切なアセスメントを行うことをこころがけ、包括職員1人あたり直営・委託を含め60件のケアプラン作成に関わりました。
- 4) 第4期昭島市介護保険事業計画にのっとり、昭島市で未作成であった虐待に関するマニュアルを市役所と連携して作成しました。
- 5) 地域のネットワーク作りには3包括連携して取り組み、地域包括支援センターの周知と情報交流をかねて、新規取り組みとして広報誌センター便りを発行し、地域に配布しました。

【利用者支援状況】

- 1) 高齢者の在宅生活の継続を支援していくために、積極的に各介護保険サービス事業所と連携を取り、きめの細かいサービスの提供につとめました。また昨年度は行われなかった二次予防高齢者に対する取り組みも保健師を中心に行いました。
- 2) 昭島市の地域包括支援センターとして3つある地域包括支援センターの中で一番来所相談が多い現状に応えるために、常に1人必ず窓口として待機することで、地域住民に安心して相談していただける場所として機能することが出来ました。
- 3) 在宅で高齢者を介護している地域の方々が利用できる介護サービスの周知、介護技術の周知に取り組みました。
- 4) 認知症の方々が地域で安心して生活して頂ける街づくりをめざし、認知症サポーター養成講座を、銀行・地域・小学校・で計5回行いました。
- 5) ご利用者の相談に丁寧に耳を傾け、必要な方には自宅へ訪問し相談をうけて対応しました。また老人クラブや自治会でも相談を受け付け、地域のご利用者の声を拾うよう心がけました。

【施設整備状況】 特になし

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成			対象者年齢別内訳					
	施設	在宅 サー ビス	介護 予防	その 他	新予防給付		地域 支援 事業	～64	～74	～84	～94	95～	不明
					要支 援1	要支 援2							
平成 22 年度	66	3264	2863	593	765	1154	0						

（注）相談件数は重複あり。

（6）認知症対応型老人共同生活援助事業

認知症の状態にあるために日常生活を営むのに支障がある方が、家庭的な環境の下で、精神的に安定して健康で明るい生活を送れるよう食事の提供等日常生活上の援助を行い、認知症老人の福祉の増進を図りました。

かえで 定員 9 名

稼働率 89.3% 平均年齢 86.0 歳(最高 97 歳 最低 74 歳) 男女比率 1 : 9

平均在所期間 3.4 年(最長 7.8 年)

年間入所 4 名 主な入所理由（在宅生活困難のため）

年間退所 4 名 主な退所理由（他施設(特養)への入所）

【施設運営状況】

1) 6 月から 11 月にかけて、利用者の入院や退院後の他施設（特養）入所が 4 名あり、出来るだけ早期の新入所調整を図りましたが、結果的に定員を充足できたのが 12 月中旬となり、年間入所率は 89.3%で対前年比で 6%減となりました。

2) 施設開設後毎年継続（8 回目）して受審している第三者評価では、利用者、家族の総合的な感想や評価者でも概ね高い評価をいただくことができました。また、昨年度に引き続き介護サービス情報公表制度に基づく公開も行い、より幅広く事業内容の開示に努めました。

3) 行政、地域包括、地域代表の方々に対し、サービス提供内容の報告や様々な助言をいただく運営推進会議を 3 回開催し、サービスの質の向上に努めました。

4) 職員会議、ケース会議の充実、日々の報告・連絡を十分に行い、職員間の意識統一を図るとともに、出来るだけ積極的な研修参加に努め、報告・還元による技術向上を行いました。

5) 東日本大震災を受け、施設、設備における防災対策の確認を行うとともに計画停電実施の際には職員体制の強化を図り、利用者の安全・安心の充実に努めました。

【利用者支援状況】

1) 年間を通じ、4 名の入退所がありました。大きな事故もなく、全般的に安定して 1 年を過ごすことができました。

2) 日常的な散歩や体操はもとより、生活リハビリとして毎日の食事作りや洗濯、掃除等出来る限り利用者に自発的な参加を促し、健康維持・増進に努めるとともに、近隣商店への買物や外食により、地域社会の一員として交流の機会を設けました。

3) 日中の日課や活動については、基本的に利用者の方々の自主性・主体性を尊重したケアに努め、ストレスの無い施設生活を送っていただけるよう配慮しました。

4) 従来への傾聴、大正琴演奏、ピアノ演奏、奇術ボランティアの訪問を継続しつつ、今年度は新たに歌の出前公演（カラオケ）ボランティアの導入を図り、いずれも定期的な訪問を行っていただき、利用者の日中活動をより豊かにすることができました。

5) 月1回程度の外食や季節感のある外出行事、保育所等郷内他施設行事への参加等、変化と刺激のある生活を送っていただくことができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
浴室給湯器改修工事	480	食堂テーブル整備	135
食堂テーブル整備	198		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
スプリンクラー設置工事	6,800		
2階洗面給湯器改修工事	130		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
		浴室給湯器、2F洗面給湯器改修	566
		スプリンクラー設備整備	5,565
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況(各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
女性	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	8	90
合計	9	9	9	8	8	8	8	8	8	9	9	9	102

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	要介護度別内訳						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成20年度	9	0	0	0	7	2	0	0
平成21年度	9	0	0	1	3	4	1	0
平成22年度	9	0	0	2	4	2	1	0

(7) 居宅介護支援事業所

介護保険法に規定する居宅要介護者が、指定居宅サービス等の適切な利用ができるよう、当該居宅要介護者等の依頼を受けて、居宅サービス計画を作成するとともに、指定居宅サービス等の提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者等との連携調整その他の便宜の提供及び介護保険施設への紹介等の便宜を提供しました。

フジホーム
原町ホーム
ゆたか苑
ひかり苑

昭島市中神町 1206
新宿区原町 3 - 8
豊島区长崎 2 - 26 - 4
東村山市富士見町 2 - 7 - 40

(8) 訪問介護員養成研修事業

訪問介護員（ホームヘルパー）は、都道府県知事の指定を受けた訪問介護養成研修事業者の行う研修の課程を修了し修了証書の交付を受けた者です。

雇用の拡大ならびに質の高い介護人材の確保や、資格を持たない職員の育成を目的としていました。

2 級課程（通学）開催期間

第 1 回 平成 22 年 4 月 6 日～6 月 30 日 受講者 15 名

会場 昭島市中神町 1260

第 2 回 平成 22 年 10 月 4 日～12 月 24 日 受講者 11 名

会場 新宿区原町 3 - 84

3 障害者支援系福祉サービスの経営

知的障害者援護施設（更生、授産）、知的障害者支援施設、救護施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1) 立川福祉作業所とさやま園は、次年度の自立支援法内事業開始に向けて、利用者の障害認定の手続きや事業内容の見直し及び経費の積算を始めとして諸々の手続きを行い、円滑な移行手続きを完了しました。
- 2) 指定管理施設の小茂根福祉園とさいわい福祉センターは、これまでの事業の検証と新たな運営計画を所管課に提案し、24年度から5年間の指定管理による事業運営を受諾できました。
- 3) 運営経費については、利用率の上昇による収入増を図るとともに、各種補助金やサービス推進費の努力加算等を駆使することにより、安定した運営ができました。
- 4) 利用者サービスでは、男性利用者の受け入れ、新規グループホームの計画、ショートステイの開始等、各施設が新たな支援に取り組み、地域のニーズに応え、利用者満足度向上につながるサービスを行いました。
- 5) 利用者状況に合わせた暮らしやすい環境整備として、エレベーターの設置、避難路のバリアフリー化など、設備改善に積極的に取り組みました。
- 6) 人材育成では、施設間職員交流研修やマナー研修、全職員によるサービス研究発表会の報告会を実施し、人材の育成とグループの職員間の連携が強化されました。
- 7) 各地域の自立支援協議会や地域福祉計画等に参画し、また利用者の地域ケア会議に参加し地域との連携を図りました。

(1) 知的障害者援護施設

-更生施設-

18歳以上の知的障害者の方へ入所または通所により、これを保護し、その更生に必要な指導及び訓練を行いました。

-授産施設-

18歳以上の知的障害者であって、雇用されることの困難な方へ、通所により必要な訓練や仕事を用意し、自立生活を援助しました。

さやま園 定員 100名（女性）短期保護 5名

稼働率 99.2%（短期保護 55.7%）入所平均年齢 43.2歳（最高 67歳 最低 19歳）
平均在所期間 18.6年（最長 46.5年）

年間入所 6名 主な入所理由（家庭養育の困難）

年間退所 8名 主な退所理由（グループホームの利用、家庭復帰、長期入院）

【施設運営状況】

- 1) 自立支援法移行準備として、利用者の障害程度区分判定を進め、施設入所支援、生活介護、就労移行支援、短期入所へ移行することとしました。
また、3月31日付で、東京都に知的障害者入所更生施設の廃止届けを提出しました。
- 2) 居室棟中央部分にエレベーターの設置工事、1階東に車いす用トイレの新設工事を実施しました。また、男性利用者入所に伴い、男性職員用トイレを増設しました。
- 3) 第三者評価を受審し、おおむね良好な評価結果でした。更なる期待としては、高齢化に備えた自立プログラム、権利擁護を主体とした利用者サービスの展開などがあり、次年度の課題としました。
- 4) 職員研修は、37箇所の研修に、延べ70人の職員を派遣しました。園内ではエルダー制度を併用した新人育成に取り組み、特に障害グループの新卒職員への接遇研修は、

大きな効果がありました。

権利擁護にテーマを絞った、他施設への宿泊研修も実施しました。

5) 地域ネットワークの一員として、東村山生活実習所などとも共同し、困難ケース等への積極的なかわりと支援の分担を実施しました。

【利用者支援状況】

1) 6名入所8名が退所しました。入所理由の大部分を家庭の養育困難が占めています。企業就労に結び付いたのは4名でした。経済状況の低迷から、障害者雇用が停滞したうえに、仕事への質がより求められています。2月1日付で、男性利用1名が入所しました。

2) 年間を通して感染症対策委員会を中心に、感染症に対する啓発活動とシュミレーションを実施しました。この結果、冬季の流行時期には、散発的な発生に留めることができました。また、ハード面の対策として、業務用空気清浄機を設置しました。

3) 60歳以上の利用者が全体の4分の1になり、介護の重要性と必要性が高まってきました。高齢介護の研究会を設置して、個別ケースや設備、人員配置などを検討してきましたが、居住環境の整備が急務であるという提案がなされました。

4) 就労支援の一環として、園内に『クリーンチーム』という掃除に特化した作業班を作り、専門的な清掃スキルを身につけています。また、利用者自身も地域ボランティアには積極的に参加し、市内で開かれた祭りなどの催しで活躍しました。

5) 利用者が自由にパソコンを使えるように環境を整えたり、ハローワークからの求人票や園内の工事日程、来客予定など、できる限りの情報公開を行いました。さらに事業についての説明会を開き、意見を求めることも積極的に行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
居室床改修工事	1,000	西棟屋根修理	1,181
福祉車両の購入	2,900	生活訓練室シンク取り換え	726
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
トイレ改修工事	10,000		
洗面台設置改修工事	1,496		
屋上洗濯干場工事	1,106		
エレベーター設置工事	10,000		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
		ホームページ制作	735
		乗用車(車いす使用)	2,320
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		エレベーター設置工事	12,129
		車いす用トイレ改修工事	6,688
		食堂手洗い場改修工事	1,495
		男子職員用トイレ改修工事	1,869

年間利用状況（各月月末人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性											1	1	2
女性	100	100	99	99	99	99	100	100	99	99	98	97	1189
合計	100	100	99	99	99	99	100	100	99	99	99	98	1191

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳								
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	55～
平成20年度	102	4	24	12	2	8	5	2	10	35
平成21年度	100	2	21	15	5	5	5	3	8	36
平成22年度	99	1	22	13	4	6	4	2	7	40

小茂根福祉園 更生施設 通所定員 30 名
授産施設 通所定員 30 名

-更生施設-

稼働率 104.9% 平均年齢 26.8 歳(最高 41 歳 最低 19 歳)
平均通所期間 5.4 年(最長 22 年)
年間入所 7 名 主な入所理由(特別支援学校卒業後)
年間退所 4 名 主な退所理由(転居、死亡)

-授産施設-

稼働率 82.5% 平均年齢 36.3 歳(最高 59 歳 最低 20 歳)
平均通所期間 12.9 年(最長 27 年)
年間入所 1 名 主な入所理由(在宅生活後)
年間退所 1 名 主な退所理由(長期入院による)

【施設運営状況】

- 1)平成22年度をもって指定管理期間が終了するため、平成23年度から5年間の指定管理者選定としてヒヤリングを受けました。その結果、指定管理者として認められ、事業を継続することが決定しました。
- 2)板橋区立福祉園全園が、23年度より新施設体系に移行するため、板橋区とともに指定申請を受けるための準備を行いました。
- 3)新任職員の育成に力を入れ、施設独自のチェックシートや目標管理、OJTによる研修プログラムを作成し実施しました。また障害グループの新人研修にも参加し、きめ細かな育成ができました。
- 4)作業、クラブなどの日常ボランティアや、行事のボランティアを積極的に受け入れ、また、バザー、お祭りなど地域行事へも積極的に参加し、地域に開かれた施設づくりを行いました。
- 5)心理的な側面からの専門的なアプローチを行うために、心理技術員を配置し、利用者・家族のニーズに応えました。

【利用者支援状況】更生施設

- 1)昨年度より定員を上回っていますが、今年度は更に7名入り、39名のスタートとなりました。その内、車いす利用者が21名となり、更に重度化が見られ、医療的ケアのニーズが増しました。
- 2)計画性のある多彩なプログラムにより、利用者が見通しを持った中で、積極的な活

動ができました。行事のほか、家族会、活動参観、懇談会、個別面談、心理相談等、家族に来園してもらえらる日を意図的に増やし、要望、意見を出しやすい環境作りに配慮しました。

3)利用者特性により、2泊3日の宿泊旅行を、今年度より3回に分けて実施しました。少人数体制により、利用者個々のニーズに合わせた動きが可能でしたが、サービス提供場所が、小茂根福祉園と、旅行先と2か所になるため、職員配置の上では厳くなりました。

4)一日プラン(外出行事)では、1名ないし2名という少人数で実施することにより、個々の希望に沿った外出ができました。希望によっては夜の外出も実施し、利用者満足の高い行事となりました。

5)東日本大震災が起きた際は、毎月実施された訓練が生かされ、利用者・職員共に慌てることなく避難することができました。降園バスについても通常通り運行し、家族への引き渡しことができました。

【利用者支援状況】授産施設

1)不況の影響を強く受け、受注作業の不振が続いています。工賃については、昨年度より19%の減少となりました。地域のパン屋との業務委託契約は1年が経過し外部での就労体験ができ、工賃がもらえるため、利用者に好評でした。

2)授産施設ですが、当施設を希望する利用者は更生施設との狭間にあるタイプの方が多くなってきました。そのため、今年度は作業支援と同様に、生活支援にも重点を置き、支援を行いました。今後も、この傾向は強くなると思われます。

3)授産利用者に対しても必要によりマンツーマン対応を行いました。

4)利用者自身が、人の役に立つ喜び、人から必要とされている喜びを感じられるようにするため、高齢者施設でのボランティア体験を継続して行いました。人から感謝されることで、自己有能感が高められたと思われます。

5)昨年度より商品アドバイザーを導入し、売れる商品作りに取り組みました。商品作りの一環及び自由な表現活動の場として、アトリエ活動を更生と共同して始めました。また、ギャラリーを借用し、発表することにより福祉関係者以外の大勢の方に発信することができました。

【施設整備状況】更生施設

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
厨房改修工事	500		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
活動用リヤカー	140		
玄関雨避け屋根設置工事	500		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
楽器購入	187	ガステーブル設置	398
		フード改修工事	773
		1階パーティション工事	554
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		非常階段塗装工事	493
		屋上倉庫設置工事	756
		2階多目的室改修工事	1,995

【施設整備状況】授産施設

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
トイレ改修工事	700		
厨房改修工事	500		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
真空包装機	300		
給茶器	200		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
作業台塗装	200	ガステーブル設置	392
		フード修理	172
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
非常階段塗装	100		

年間利用状況 更生施設(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	490	418	524	458	430	430	446	480	406	381	357	406	5226
女性	235	196	243	221	205	209	195	220	183	177	154	184	2422
合計	725	614	767	679	635	639	641	700	589	558	511	590	7648

利用者状況推移 更生施設(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年 齢 別 内 訳								
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~	
平成20年度	29	2	7	7	6	4	3	0	0	
平成21年度	32	3	9	7	7	4	2	0	0	
平成22年度	35	7	9	6	6	6	1	0	0	

年間利用状況 授産施設(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	318	281	342	309	296	297	303	299	286	241	279	319	3570
女性	215	193	233	222	192	205	209	204	182	178	189	219	2441
合計	533	474	575	531	488	502	512	503	468	419	468	538	6011

利用者状況推移 授産施設(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年 齢 別 内 訳								
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~	
平成20年度	27	1	7	2	1	1	6	5	4	
平成21年度	29	2	7	2	3	1	6	3	5	
平成22年度	29	0	10	1	4	0	4	5	5	

立川福祉作業所

通所定員 75 名

稼働率	90.4%	平均年齢 35.0 歳（最高 64 歳 最低 19 歳）
		平均通所期間 15.2 年（最長 41 年）
年間入所	8 名	主な入所理由（養護学校卒業後の進路、離職者）
年間退所	7 名	主な退所理由（企業への就職、他施設への入所）

【施設運営状況】

- 1) 年度当初より定員 3 名増員を行い弾力運営に努めました。昨年度より年間利用率がわずかですが向上する結果となりました。
- 2) 授産事業においては、不況の厳しい状況の中、新規受注企業の開拓や効率的に生産できるシステムに取り組んだ結果、現状を維持できました。
- 3) 製パン事業では、技術の向上および豊かな発想により新製品やクオリティーの高い製品を製造することが出来ました。また新たに高齢施設の喫茶コーナーの販路拡大により店舗販売・出店販売でも業績を上げることができました。
- 4) 自立支援法移行への準備として区分判定のすべて完了し、来年度の経営安定のため多機能事業への移行を選択します。
- 5) 地域との関わりとして自立支援協議会の委員や地域の施設連絡交流への参加、自治会との合同消防訓練に利用者参加と協力関係を深めることが出来ました。

【利用者支援状況】

- 1) 企業への就職や年度途中での退所も例年より多く見られたが、利用者の弾力的かつ柔軟に受け入れを行いながら運営を図ってきた結果、目標の利用率は達成することができました。
- 2) 就労支援においては、一般企業への就職・アフターフォローによる就労定着支援にも力を注ぎ支援することが出来ました。
- 3) 新規企業の開拓・清掃事業の拡大・喫茶コーナーと利用者の活躍の場を増やすことができ仕事に対する意欲や姿勢等向上することが出来ました。
- 4) 自立支援支援法移行に向けた準備として、利用者・保護者・関係諸機関と連携を深め利用者ニーズに応じながら取り組むことができました。
- 5) 余暇支援の充実を図り、新たにクラブ活動を 2 種類増やし、全部で 11 種類のクラブ活動により、利用者が楽しく生活の励みになるように支援に取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第 1 期(4~6月)		第 1 期(4~6月)	
冷蔵庫・冷凍庫購入	1,500	冷蔵冷凍庫	493
コンベクション購入	2,000	コンベクション	1,531
第 2 期(7~9月)		第 2 期(7~9月)	
食堂壁張替工事	2,000		
作業場蛍光灯交換	500		
第 3 期(10~12月)		第 3 期(10~12月)	
第 4 期(1~3月)		第 4 期(1~3月)	
		食堂壁	929
		作業場蛍光灯交換	955

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1015	896	1028	1007	912	959	942	933	904	859	885	885	11225
女性	598	550	652	595	594	627	604	624	593	542	514	527	7020
合計	1613	1446	1680	1602	1506	1586	1546	1557	1497	1401	1399	1412	18245

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成20年度	74	7	14	6	11	4	8	13	11
平成21年度	74	7	14	6	11	4	8	13	11
平成22年度	77	3	23	5	9	6	7	9	15

（2）知的障害者支援施設

障害者自立支援法の多機能型施設として生活介護（旧法：更生）及び就労継続支援B（旧法：授産）を行いました。

東村山生活実習所 生活介護 通所定員 30名

就労継続支援B 通所定員 10名

短期入所 定員 2名

稼働率 生活介護 90.0% 就労継続支援B 69.3% 短期入所 16.1%

障害程度区分 生活介護 5.0 就労継続支援B 2.0 短期入所 5.0

平均年齢 40.0歳（最高 65歳 最低 19歳）

平均通所期間 4.2年（最長5年）

年間入所 7名 主な入所理由（他通所施設から異動、新事業利用）

年間退所 4名 主な退所理由（入所施設利用、死亡のため）

【施設運営状況】

1) 新たに3事業を立ち上げ、事業内容の骨格を作り上げました。生活介護事業では、利用者の重度化に合わせた活動内容の精査、就労支援事業では菓子の製造から喫茶の運営などの一連の流れ、短期入所事業では利用者が安全に快適に過ごして頂くための支援内容の確立に努めました。

2) 稼働率においては、生活介護事業は、定員を3名増員しましたが、昨年とほぼ同じ推移でした。就労継続支援では、1年を通じて利用者の入退所も多く、7割ほどの利用でした。短期入所事業は、6月からスタートし、月に10ケースほどの利用でした。

3) 保護者会に第三者委員の参加を依頼し、ふだんの活動の様子など一緒に聞いて頂いています。第三者評価も引き続き受審し、施設運営の参考にしてきました。新たに就労事業で喫茶をオープンしました。地域の方々の利用も多く、施設の理解に役立っています。

4) 利用者のケースに応じて、必要な福祉サービス機関と連携し、利用者が地域社会で安心して暮らせるためのネットワークの構築を進めています。

5) 利用者各自の安全対応マニュアルの作成、職員の支援技術の向上など定期的に研修や見直しを図ってきました。施設全体としても徐々に成果はあがってきています。

【利用者支援状況】

- 1) 職員一人ひとりが、利用者各自の思いや心情を理解し、個別支援目標に沿って支援を行ってきました。園芸や創作活動、運動、音楽など少しずつ支援メニューも増え、内容も充実してきました。
- 2) 地域の住民の方々、福祉関係の方々とも連携が出来てきて、当施設から発信する福祉に関する情報や当施設で行っている活動に興味を示される方が増えてきました。利用者にとっても生活の幅を広げる意味でいい交流の場になってきています。
- 3) 生活介護事業では、利用者の障害に応じて必要なプログラムの提供に取り組みました。また、家庭からは将来への不安などの相談が増え、出来る限り安心できる体制作りに取り組みました。
- 4) 就労継続支援では、利用者が働きがいをもてる職場になるように、利用者の声を聞きながら運営を行ってきました。喫茶は少しずつお客が増え、受注生産も伸びてきています。工賃に関しても伸びてきました。
- 5) 短期入所事業では、安心して利用してもらうよう利用者一人ひとりの生活に合わせた日課、接遇などに配慮し、快適に過ごしてもらえるための環境作りを行いました。

【施設整備状況】 特になし

年間利用状況 生活介護（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	357	293	379	358	372	350	345	348	325	348	321	334	4130
女性	214	181	224	198	218	202	202	200	193	200	196	203	2431
合計	571	474	603	556	590	552	547	548	518	548	517	537	6561

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成20年度	27	0	3	1	3	6	7	6	1
平成21年度	27	3	3	6	2	5	3	3	2
平成22年度	30	0	4	2	2	8	4	6	4

年間利用状況 就労継続支援B（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	36	32	43	40	63	60	58	57	54	55	48	55	601
女性	100	78	105	83	97	98	91	76	67	80	110	125	1110
合計	136	110	148	123	160	158	149	133	121	135	158	180	1711

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成21年度	5	0	0	1	0	0	1	0	3
平成22年度	10	1	0	2	1	2	0	1	3

（3）救護施設

身体上または精神上著しい障害があるために、独立して日常生活の用を弁ずることのできない要保護者の方に生活扶助を行いました。

昭島荘 定員 100 名

稼働率 100.8% 平均年齢 65.8 歳(最高 87 歳 最低 36 歳) 男女比率 1 : 1
 平均在所期間 17.2 年(最長 51.0 年)
 手帳保持者 94 名(愛の手帳 19 名、身障手帳 22 名、左記両手帳 7 名、
 精神障害保健手帳 45 名)
 年間入所 9 名 主な入所理由 (病院退院後、グループホームより)
 年間退所 8 名 主な退所理由 (死亡、長期入院)

【施設運営状況】

- 1) 多様な障がい者を幅広く受入セフティネットの機能を果たしました。
- 2) 支援全般に亘る重点項目と介護上の重点目標を支援計画に反映しました。
- 3) 支援ソフトの活用により、事務処理や情報の共有化が図れました。
- 4) 職員の資質向上のために救護施設主催の研修に多くの職員が参加しました。
- 5) 第三者評価事業受審により、質の高いサービスを行えるように心がけました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者の平均年齢は 65.8 歳、在園期間も平均 17.2 年と長期高齢化が進行しています。特に、近年介護認定された利用者や常時介護を要する利用者が増加しています。
- 2) 利用者の半数は精神疾患や重複障害などですが今後も増加傾向にあります。
- 3) クラブ活動や日帰り旅行等の諸行事をボランティアの協力により実施しました。
- 4) 園内行事や外出の機会を設け、可能な利用者に関しては家庭交流に努めました。
- 5) リサイクル作業班を通じ地域に貢献する活動を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第 1 期(4~6月)		第 1 期(4~6月)	
非常口誘導灯改修工事	1,208	パラソル・テーブル	546
熱感知機交換	630	脱衣室天井及びその他の工事	602
天井外塗装改修工事	1,000	西側階段室天井一部塗装工事	483
ホームページ作成	601	便座取替工事	593
パラソル・テーブル設置	546		
第 2 期(7~9月)		第 2 期(7~9月)	
玄関下駄箱修理	500	ガス式温蔵庫購入	843
冷温水ユニット整備	2,105	2 階汚物処理室改修工事	672
汚物除去機購入	997	玄関下駄箱修理	438
ガス式温蔵庫購入	843		
第 3 期(10~12月)		第 3 期(10~12月)	
		汚物除去機購入	997
		音響機材一式	735
		冷温水ユニット整備	1,995
第 4 期(1~3月)		第 4 期(1~3月)	
		ホームページ作成	601

年間利用状況（各月月末人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	623
女性	49	48	48	49	49	49	49	49	49	48	49	49	585
合計	100	100	100	101	101	101	101	101	101	100	101	101	1208

利用者状況推移（各年度3月末日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳								
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～	～19
平成20年度	101	0	0	0	0	2	1	1	97	101
平成21年度	101	0	0	0	0	1	1	2	96	101
平成22年度	101	0	0	0	0	3	2	1	95	101

（４）心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長し、合わせて緊急一時保護も行いました。

さくらんぼ

長期自立支援事業 利用実人員 2名（年間延517名）
 平均年齢 43.5歳（最高65歳 最低22歳） 男女比率 1：1
 平均在所期間 638日（最長3年 最短312日）

短期間の自立支援事業 利用実人員 71名（年間延566名）
 平均年齢 37.4歳（最高62歳 最低19歳） 男女比率 37：30
 平均在所期間 8.4日（最長20日 最短1日）

緊急一時保護事業 利用実人員 31名（年間延488名）
 平均年齢 37.9歳（最高70歳 最低20歳） 男女比率 12：19
 平均在所期間 15.4日（最長91日 最短1日）

レスパイト 利用実人員 42名（年間延160名）
 平均年齢 36.7歳（最高70歳 最低20歳） 男女比率 10：15
 平均在所期間 1.9日（最長5日 最短1日）

移動支援事業 利用実人員 25名（年間延133名）
 平均年齢 46.6歳（最高70歳 最低25歳） 男女比率 10：15

【施設運営状況】

- 1) 長期自立援護、緊急一時保護、レスパイト、短期自立訓練の事業を柱に、豊島区独自の施設として、利用日数の延長や、利用要件の緩和など区内の障害者の要望には柔軟に対応致しました
- 2) 豊島区の障害福祉計画、自立支援協議会に参加し、今後の豊島区の障害者支援について検討致しました。その中でさくらんぼが担う役割についても区と検討を重ねてきました。
- 3) 豊島区内の事業所、法人内施設へ施設間交流研修として職員を派遣し、さくらんぼの事業の見直し、他機関との連携を進める上でも職員の資質向上と利用者サービスの向上に繋がりました。

- 4) 就労している方やグループホームへ移行した方を中心に宿泊行事等のイベントを実施し、さくらんぼを介して相談の機会や利用者間の交流を積極的に進めました。
- 5) 空調設備交換、防水工事実施により3カ月間の利用制限を行ったため、利用者数は減少しましたが、利用者の生活環境の改善が図られました。

【利用者支援状況】

- 1) 24時間、365日対応する施設として利用者を受け入れてきました。特に家族の高齢化による入院等には迅速に対応しました。今までの利用実績から、長期間の利用になっても本人、家族にも大きな動揺もなく利用することができました。
- 2) 長期自立援護の利用者にはその後の高齢者施策への転換に向けた支援を行いました。緊急一時から長期自立援護に移行した利用者は、家族と離れて自立した生活を送ることを自覚できるように支援しました。
- 3) 重度障がい者の利用希望が増加傾向にあり、その受け入れに際しては、家族や通所先との情報交換、フェイスシートやマニュアルを活用し、実際の支援では看護師との連携や職員の増員を行い、安心、安全に利用できるような対応を行いました。
- 4) 短期自立訓練の利用者には、本人の意向を確認しながら将来設計について提案したり、移動支援事業所との連携を進めるなど地域生活が充実するように支援致しました。
- 5) グループホームへ移行した方への訪問や、世話人、就労先との連携を図り、グループホーム内での人間関係の改善や、就労継続に向けた支援等、退所先での生活が継続するように支援しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
居室内塗装工事	672	居室内装塗装工事	650
空調機交換、屋上防水工事	豊島区	空調機交換、屋上防水工事	豊島区
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

利用者状況推移(各年度延人員)

年度	利 用 人 員								年 齢 別 内 訳						
	親なき後対策		緊急一時保護		短期自立訓練		レスパイト		~19	~29	~39	~49	~59	~64	65~
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員							
平成20年度	4	48	39	66	78	313	35	75	3	24	43	14	4	5	1
平成21年度	4	24	34	75	78	296	44	89	2	26	35	22	4	9	0
平成22年度	2	517	31	488	71	566	42	160	1	26	29	22	7	5	2

居宅介護等事業 利用状況	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
	142人	232人	97人	163人	25人	133人

(5) 身体障害者福祉センター B 型

東久留米市内の居宅で生活している 15 歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図りました。

さいわい福祉センター

自立支援事業	地域活動支援センター 平均年齢 20 歳 (最高 21 歳 最低 19 歳) 男女比率 7 : 2	就労移行・生活介護 平均年齢 25.2 歳 (最高 31 歳 最低 21 歳) 男女比率 10 : 3
	身障機能回復訓練 平均年齢 33.6 歳 (最高 63 歳 最低 18 歳) 男女比率 7 : 3	
介護支援事業	都型ショートステイ 平均年齢 28.5 歳 (最高 64 歳 最低 12 歳) 男女比率 4 : 6	日中一時支援 平均年齢 16.5 歳 (最高 64 歳 最低 4 歳) 男女比率 6 : 4
	入浴サービス 平均年齢 32.3 歳 (最高 53 歳 最低 20 歳) 男女比率 5 : 6	
居宅生活支援事業	移動支援事業 平均年齢 39.0 歳 (最高 81 歳 最低 12 歳) 男女比率 3 : 7	居宅介護事業 平均年齢 52.5 歳 (最高 62 歳 最低 38 歳) 男女比率 5 : 5
障害者地域自立生活支援事業		
相談内容	福祉サービスの利用支援 59	利用者内訳
	就労支援 817	身体障害 17
	日常生活 17	知的障害 62
	障害、医療、健康 12	その他 26
	その他 20	就労支援 44
		登録
	計 925	計 149

【施設運営状況】

- 1) 次期指定管理の再受託に向けてこれまでの運営課題を整理し、より市民ニーズに沿ったセンター機能のあり方を検証し東久留米市に提案しました。結果、これまでの運営実績が評価され再受諾することができました。
- 2) 新規事業として就労支援室を開設し、職員 2 名体制で地域の就労支援の拠点の一つとして東久留米市就労支援室の基礎を固めました。また、市内の事業所と連携して就労支援の周知に努め、近隣の支援機関と円滑な関係を構築しました。
- 3) 第三者評価受診の前準備として、センター利用者（通所訓練・ショート利用）の方にサービス内容についてのアンケートを実施し、評価結果をその後の事業運営に反映させました。
- 4) 設備機器の経年劣化が頻回しているため、東久留米市と協議し迅速な改善を図りました。特に空調設備は、23 年度の市の予算に計上されました。また、防災倉庫や火災通報装置を設置し、防災対策を強化をしました。
- 5) センター内の介護講座や障害グループの接遇マナー研修、外部の研修参加や職員個人の自己研鑽による介護福祉士や社会福祉士の資格取得などを推進し、専門性の向上と

サービスの向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 自立訓練終了者の進路先が市内に不足している中、市内外の事業の協力を仰ぎ実習や見学を実施し、各々の利用者の特性や意向にあった日中活動の場の確保に努め、全員の進路先を決定し送り出すことができました。
- 2) 就労支援室を9月から運営し、ハローワークや他市の就労支援センターと連携を深め、6名の方が企業に就労できました。また、定着支援と就労者の余暇活動として、夕方からの懇親会を毎月実施しました。
- 3) 居宅介護事業ではヘルパー不足が深刻な課題としてあり、一方で視覚障害者のガイドヘルプは一時間に満たない短時間の依頼がある中、ヘルパーの負担も考慮しながら、利用希望の依頼に応えていくよう連絡調整を行い、また職員による派遣も行いました。
- 4) 家庭生活が困難な方、独居の高齢障害者の方、登校拒否の障害児の方など、学校や包括支援センターなどの要請に応えて、地域の支援会議に参加し、センター機能で提供できる支援を関係機関と連携して行いました。
- 5) 聴覚障害者の磁気ループの購入、高次脳機能障害者の家族会の施設借用への協力など、幅広い障害の方へ支援を広げ、精神障害者の作業所との連携も深めていくことができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
ボイラー改修工事 市と協議	600	外部ゴミ置き場設置	152
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
パソコン購入(講座・就労)	500	火災通報装置設置	525
調理場改修工事	1,000		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
空調設備改修工事 市と協議中		蛍光灯安定期交換工事	132
地デジ対応テレビ購入	400		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
プロジェクター(ホール用)	1,000	発電機設備塗装工事	299
		ガス給湯機交換工事	199
		自動給水装置交換工事	1,155

利用者状況推移(各年度延人員)

年度	自立支援事業				介護支援事業			
	知的訓練		身障機能		ショート・緊急		入浴	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成20年度	18	3135	22	532	79	2253	7	205
平成21年度	8	1782	20	541	65	2082	11	367
平成22年度	9	2036	19	482	61	1923	11	340

年 度	居宅生活支援事業				育成事業			
	生活介護/就労移行		ヘルパー		グループ育成		講座・講習	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成 20 年度	5	1060	21	1222	119	1318	62	1016
平成 21 年度	13	2108	29	1144	128	1234	78	1100
平成 22 年度	13	2294	26	1203	139	1494	78	951

(6) 共同生活介護 (ケアホーム) ・ 共同生活援助 (グループホーム)

障害者自立支援法第 5 条第 10 項に定める共同生活介護及び第 16 項に定める共同生活援助事業を利用する障害者に共同生活を営む生活の場を提供し、共同生活介護においては、入浴・排泄または食事の介護等を行いました。

共同生活援助においては、相談その他日常生活の援助を行い、自立した生活を営めるよう支援しました。

アミニティ富士見

稼働率 100.0% 定員 28 名

【施設運営状況】

- 1) グリーンハイツ世話人が交代しました。新しい世話人も家庭的で、親身な支援を行っており、円滑な引継ぎができました。
- 2) 建物の老朽化と住環境の改善のため、パルが本町から栄町の物件へ移りました。駅にも近く、利便性に優れ、利用者にも好評でした。
- 3) グリーンハイツを拠点とした夜間管理体制を強化し、フレンズモエ、アミニティ富士見、パルの計 4 か所を巡回しました。警備保障サービスとともに、急変に対応できるようなシステムとしました。
- 4) 懸案だった「オンブズパーソン」を地域経験者から 1 名、知的障害のかかわりが専門の方を 1 名に委嘱し、利用者の本音やご意見を探る試みを始めました。
- 5) 23 年度清瀬市へ開設予定のグループホーム・ケアホームの開設準備を行いました。オーナーがグループホーム用の建物を作り、その物件を長期賃貸契約しました。

【利用者支援状況】

- 1) 個別支援計画を作成し、年 2 回のモニタリングを経て、計画の進捗状況や修正を行いました。利用者のニーズの変化や環境からの影響を反映することができました。
- 2) 月に 1 回、世話人会議を開催し、意見交換を行いました。また、世話人研修会へ積極的に参加し、日々変化する利用者の状況を冷静に判断することができました。
- 3) 地域支援サービスの事業者が集まり、継続的な利用者ケースカンファレンスを実施しました。地域ネットワークが構築され、困難ケースの改善にもつながりました。
- 4) それぞれのグループホームで、定期的に家族会を開催し、意見交換を実施しました。生活の質の改善や明朗な会計など、建設的な意見が出ました。
- 5) 7 月に全グループホーム利用者、世話人、夜間管理、担当職員などが集まり、交流会を開催しました。二度目の試みでしたが、大変好評で、恒例行事として行っていくことになりました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成20年度	21	0	0	5	2	5	3	2	4
平成21年度	27	0	4	6	3	4	3	2	5
平成22年度	28	0	1	8	5	3	3	4	4

レチオンス巣鴨

稼働率 100.0% 定員 12名

【施設運営状況】

- 1) 利用者の入退所はなく、処遇改善交付金の交付を受け安定した収入を得ることができました。事業所単位の会計の中で効率的な運営費の活用を進めました。
- 2) 世話人、生活支援員を適正に配置しサービス管理責任者と役割分担し、利用者サービスの向上を図りました。
- 3) バックアップ施設が運営費、利用者預かり金、ケース記録のチェックを行い、また、月に1回の世話人会を開催し、適正な運営を行うように体制を強化しました。
- 4) 利用者の権利擁護、個別の支援を柱とした支援ができるよう世話人研修等の参加を進め、意識の向上を図りました。
- 5) 清掃業者による定期清掃や、地デジ対応のテレビ設置など利用者の生活を快適にするための環境を整備しました。消防設備の点検、整備や避難訓練の実施など安全対策も進めました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者一人ひとりの住まいの場として安心した生活が送れることを支援の柱とし、個別支援の充実を図りました。体験入居から本入所に移行した利用者には、徐々に家族との生活から、グループホームの生活に移行できるよう段階を踏んで支援しました。
- 2) グループホーム利用者全体の行事や外出だけでなく、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添うよう、個別支援計画に基づいた世話人、生活支援員による個別の支援の充実を図りました。
- 3) 就労の場、生活の場、余暇活動がそれぞれ充実するように、通所先家族会の参加や、グループホームの旅行、個別の趣味の活用、利用者間の話し合いなどを支援しました。
- 4) 地域の余暇活動(青年教室、ホットサロン等)の参加や、地域行事(ウォークラリー、ふくしまつり等)への情報提供や体験・参加を進め、生活の幅が広がるよう支援しました。
- 5) 利用者家族の高齢化に伴い、交流が希薄になってきた利用者には、家族の負担にならないような交流の工夫、ご自身での趣味を広げるなど余暇の広がりを支援しました。後見人との連携も進めました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成20年度	12				1	1	1	1	8
平成21年度	11					1	2	1	7
平成22年度	12					2	2	1	7

夢才八ナ

稼働率 99.1% 定員 6名

【施設運営状況】

- 1) 今年度2年目を迎え年度途中で利用者1名(女性)が退所し1名(新入所者)を迎え入れ運営費の効率的な活用を検討しながら安定した運営ができました。
- 2) 年度途中、世話人の交代はありましたが適切な配置を行い、日々の生活の向上や利用者サービスに取り組むことができました。
- 3) 夜間の宿直体制も引き続き行うことで利用者及びご家族への安心・安全の確保に努めることができました。
- 4) 立川福祉作業所と連携を取りながら利用者サービスの向上(日常生活等)や個別支援計画の作成などにつなげることができました。
- 5) 地域生活の充実を図るため関係機関、また他の福祉サービス提供者等との連携に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 開設一周年を記念して利用者・ご家族・職員合わせて記念行事を行い、日常生活場面や、将来のことなどを振り返りながら信頼関係を深めることができました。
- 2) 利用者の生活基盤の充実と安全かつ安心して生活が送れるよう通勤・通院や様々な支援等をバックアップ施設と連携しながら行うことができました。
- 3) 利用者の主体性を尊重して豊かな生活を送れるように休日の過ごし方を相談しながら行いました。今年度は、利用者の転職の相談から取り組みを開始し3月に転職を行うことができました。
- 4) 利用者が健康に生活を送れるように心身の状態を把握することで、体調を崩すことなく通勤通所することができました。
- 5) 利用者の生活の向上の一環として、余暇支援にも力を注ぎ日帰り旅行・一泊旅行・映画鑑賞など行いました。

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~
平成21年度	6		2	1		1	1		1
平成22年度	6		3	1			1		1

4 児童・女性支援系福祉サービスの経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設を経営しました。

【グループ総括】

- 1) サンライズ武蔵野（むさしの保育園と合築）の改築に着工しました。
- 2) 双葉園では、二か所目のグループホーム（男子）の開所に向けて検討してきましたが、平成 23 年度開所が決定し準備を進めました。
- 3) サンライズ青山は、新たに都外から DV 被害母子世帯を積極的に受け入れ、広域利用事業の推進に取り組みました。
- 4) 第三者評価を受審し、より一層法令を遵守し、公正で信頼される施設運営を行ないました。
- 5) 職員が心身共に健康で働くことができるよう、メンタルヘルスに対する問題意識を共有し、メンタルヘルスケア研修を行ないストレスの軽減に役立てました。
- 6) グループ全体で合同研修を実施するとともに、グループ内施設交流研修とグループ間（障がい者支援系）施設交流研修を行ない職員の育成に努めました。
- 7) サンライズ山中は、暫定定員の中、施設を運営して参りましたが、平成 24 年度末で廃止することになりました。

（1）母子生活支援施設

18 歳未満の子どもを養育している母子家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援しました。

サンライズ武蔵野 定員 20 世帯

稼働率 56.8%
平均在所期間 2.3 年(最長 3.6 年)
年間入所 2 世帯(4 名)
年間退所 9 世帯(22 名) 主な退所先(都営住宅、民間アパート)

【施設運営状況】

- 1) 施設改築中の定員変更（10 世帯への定員減）に向け、入所世帯数を年度末で 9 世帯としました。
- 2) 施設改築工事開始について、利用者、近隣住民への説明を行いました。また、新施設への移動準備、改築後の事業展開に向けた検討、情報収集等の準備を進めました。
- 3) 前回とは異なる第三者評価機関を選定し、第三者評価を受審しました。昨年度の受審結果から把握した課題へ取り組み、課題改善に努めました。財務状況についても利用者へ公開しました。
- 4) 昨年度、新型インフルエンザの流行で中止した地域交流行事のバザー、もちつき会を実施、杉並区要保護児童等対策地域協議会、和田青少年育成委員会への参加、町会との合同防災訓練を通して、地域の方々と交流を図りました。
- 5) 法人内、グループ内、施設内（メンタルヘルスケア）研修、全母協、東社協部会、関係機関主催の研修等に積極的に参加し、職員の資質の向上と利用者支援向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 今年度は都営住宅以外への希望退所が多く、退所支援にあたっては自立支援計画に基づき、進めることができました。また、入所期限満了の退所についても、自立支援計画に沿って十分な話し合いにより準備を進めることができました。
- 2) アロマ講習や親子手作り会など、利用者同士が交流できる場を定例的に提供し、講師も含め、気軽に話をしたり、意見交換することができました。
- 3) 学童の放課後の時間を充実させる為、簡単な工作や外遊びの時間を設定し、身近な物を使って遊べるという知識を学童に提供することができました。長期休暇中は、昼食を職員と一緒に取る等、より大人の目が届くよう環境を整えることができました。
- 4) 年度途中から学習ボランティアを導入し、子どもたちの学習する環境を整えることができました。また学習だけでなく、遊びの場面にも入ってもらい、子どもと大人の日常の関わりを向上させることができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
防災用リヤカー購入	157	防災用リヤカー	126
施設内サーバー交換	200	冷蔵庫	108
冷蔵庫(事務所)購入	150		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
改築第1期工事	79,618	ソファベッド	60
		ガス警報機交換23台	210
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
		施設内サーバー	234
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
ソファベッド(静養室)	250	改築第1期工事	28,475

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	16	15	15	14	13	12	12	10	9	9	8	7	140
児童数	26	25	25	23	22	21	21	17	16	16	15	13	240
合計	42	40	40	37	35	33	33	27	25	25	23	20	380

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成20年度	5	8	13	12	17	29	17	42
平成21年度	3	9	12	13	18	31	16	43
平成22年度	2	5	7	5	8	13	7	20

サンライズ青山

定員 20 世帯（港区緊急一時保護 1 世帯）

稼働率 96.7%（緊急一時 58.9%）
 平均在所期間 2.1 年(最長 7.0 年)
 年間入所 27 世帯(65 名)
 年間退所 8 世帯(24 名) 主な退所先（公営住宅、民間アパート）

【施設運営状況】

- 1) 職員の基本姿勢を明示し、利用者一人ひとりへ寄り添い心の癒しとなる職場風土作りに努め、利用者の自立生活移行の促進につながる運営が行なえました。
- 2) 利用者居室の修繕や学童室の老朽化したエアコン・テレビ・学習机等の交換、下駄箱や館内放送設備の改修等を行ない利用者の生活環境向上に努めました。
- 3) 新たに都外から DV 被害母子世帯を積極的に受け入れ、広域利用事業の推進に取り組み利用率向上に努めました。
- 4) 関係機関との連携により他区都外との 2 世帯枠で相互利用及び広域利用が新たに実現し、地域の町会とは広域災害避難訓練や防火夜回り等を行ない地域協働に努めました。
- 5) 各種研修会への積極的な参加を奨励するとともに、外部講師を招いた公開施設内研修会等を行ない職員の質的向上に努め職員全体でサービス向上に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者に応じた相談・助言・同行・付添等の支援、心理相談員による心理的ケアを行ない利用者一人ひとりの安定と自立促進に繋がりました。
- 2) 母子家庭の就労状況は厳しく母親の就労先定着と子育ての支援に、未措置児を含む乳幼児の補助保育を行ないました。
- 3) 季節行事や学童行事・母子レクリエーション等の各種行事を実施し、母子の安定と子どもの健全育成に向けて取り組みました。
- 4) 退所母子へ電話等による連絡や直接訪問と退所者招待行事を行ない、相談助言から社会資源活用の方法や情報提供等、地域生活継続へのアフターケアを行ないました。
- 5) 自区行政等関係機関との連携により他区及び都外からの DV 被害母子の利用が 2 世帯枠で実現し広域的支援の提供に繋がりました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
学童室エアコン購入	750	高架水槽蓋交換	93
パソコン購入	400		
第 2 期（7～9 月）		第 2 期（7～9 月）	
館内放送設備改修工事	1,600	エアコン設置	926
風呂釜改修工事	600	ノートパソコン 2 台購入	190
		学習机椅子 20 セット寄付	368
第 3 期（10～12 月）		第 3 期（10～12 月）	
下駄箱改修工事	700	利用者居室修繕	870
第 4 期（1～3 月）		第 4 期（1～3 月）	
学童用運動マット	150	下駄箱改修工事	861
液晶テレビ 3 台購入	240	館内放送設備改修工事	998

		浴室及び面談室補修工事	995
		学童室等地デジ対応 TV 購入	183

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	20	20	19	20	20	20	20	20	18	19	19	19	234
児童数	30	30	27	28	28	28	28	28	20	21	21	21	310
合計	50	50	46	48	48	48	48	48	38	40	40	40	544

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年 度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成 20 年度	7	9	16	13	17	30	20	46
平成 21 年度	6	7	13	14	23	37	20	50
平成 22 年度	8	9	17	11	12	23	19	40

サンライズ万世 定員 20 世帯（子育て短期支援、昭島市緊急一時保護 各 2 世帯）

稼働率 97.4%（短期及び緊急一時 5.1%）

平均在所期間 1.5 年(最長 4.6 年)

年間入所 10 世帯(32 名)

年間退所 9 世帯(24 名) 主な退所先（公営住宅、民間アパート）

【施設運営状況】

- 1) 年間を通して 10 世帯（32 名）の入所があり、9 世帯(24 名)が都営住宅等へ退所されました。年間稼働率 97.4%（前年度 96.1%）短期・緊急一時の稼働率が低いのが今後の課題です
- 2) 新規事業として、地域の幼児・学童期の子ども等を対象にして、認知行動療法や応用行動分析を取り入れた、子どもの発達と療育相談をスタートしました。
- 3) 今年度の第三者評価は、昨年までの評価機関を変更して行ないました。新たに職員の気づきと業務を振り返ることができ、さらなる利用者サービスの向上に繋がりました。
- 4) 地域の中では、昭和郷の合同行事に参加しました。また、施設単独では、子ども神輿(双葉園と合同)で昭和郷施設を慰問に回ったり、自治会の大会に参加しました。
- 5) 職員個人の育成計画に基づいて、人材育成に取り組みました。その中で、今年度は特にグループ全体で、次世代育成研修(全 5 回)を行ない当施設から 2 名参加しました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者の意思を尊重しながら、福祉事務所と利用者との三者で自立支援計画を作成し、多岐にわたって支援を行ないました。
- 2) DV 被害の利用者の就労支援として、安全性や仮名使用による雇用契約における課題について、理解を得やすい昭和郷内施設との連携により就労に結びつけることが出来ました。
- 3) 心理判定検査機を購入したことにより、心理相談員からの検査結果が利用者サービスの向上につながり、関係機関（学校・クリニック・児童相談所等）と連携がしやすくなりました。
- 4) 利用者の安全に特に配慮して、防犯カメラの設置、2 階 3 階の廊下の窓からの転落防止工事、居室のベランダ落下防止工事等の施設整備を行ないました。
- 5) 実習生を年間を通して受け入れました。行事等ではボランティアを活用しました。学習ボランティアの確保と定着が今後の課題です。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
デジタル複合機購入	660	デジタル複合機購入	530
防災用倉庫購入	190	防災用倉庫購入	184
心理判定検査機購入	150	心理判定検査機購入	135
3階屋上フェンス改修工事	305		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
3階窓転落防止工事	426		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
壁紙張替工事	500	3階窓転落防止工事	428
非常灯電気交換	200	3階屋上フェンス改修工事	284
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		防犯カメラ設置工事	998
		学習室壁修繕工事	284
		2.3階居室ベランダ転落防止工事	1,869
		2階窓転落防止工事	1,465
		壁紙張替工事	210

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	20	19	19	18	20	20	20	20	20	20	20	20	236
児童数	32	30	31	29	33	33	33	33	35	36	36	36	397
合計	52	49	50	47	53	53	53	53	55	56	56	56	633

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成20年度	7	13	20	13	22	35	20	55
平成22年度	8	11	19	12	19	31	20	50
平成22年度	11	20	31	9	16	25	20	56

サンライズ山中 定員20世帯

稼働率 71.3%

平均在所期間 2.1年(最長6.8年)

年間入所 5世帯11名

年間退所 7世帯14名 主な退所先(都営住宅、民間アパート、他施設)

【施設運営状況】

- 1)今年度も暫定定員(19世帯)での運営になり、年間利用率は71.3%、昨年度対比にて約9%減少しました。
- 2)専門性・スキルの向上を重要視し、人材育成の一環として研修への積極的参加に努

めました。

3) 第三者評価による自立支援計画のあり方を検討し、面談等に活かしました。

4) バザーや商店街縁日への参加により地域との交流を図りました。

5) 平成 25 年 3 月末にて自施設の廃止が決定し、それに伴い事業・運営等の見直しを始めました。

【利用者支援状況】

1) 職員間の気付きを共有化し、個別の支援方法を検討しました。

2) 心理士が行事にも参加し助言することで、利用者の変化に対する早期支援を心がけました。

3) 関係機関との密な連携のもと、支援内容・方向性について検討しました。

4) 就労・通学支援に関して、緊急・早朝・病児保育の受け入れを積極的に取り組んできました。

5) 居住環境の整備（非常・火災通報装置、ウィンドエアコン取替等）を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
各所補修工事4階非常扉他	735	居室改修他工事	438
コインシャワー改修工事	2,625		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
非常火災通報装置取替工事	405	非常・火災通報装置取替	405
		(居室)ウィンドエアコン取替	585
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
事務所戸棚設置	95		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		地上デジタルアンテナ工事	273

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	15	15	14	15	15	15	15	14	14	14	14	14	174
女性	17	17	15	16	15	16	16	16	16	16	16	16	192
合計	32	32	29	31	30	31	31	30	30	30	30	30	366

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年 度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成 20 年度	9	11	20	9	12	21	18	41
平成 21 年度	7	7	14	8	9	17	15	31
平成 22 年度	7	9	16	7	7	14	14	30

(2) 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援しました。

双葉園 定員 40 名
高嶋の家 (地域小規模) 定員 6 名 合計 定員 46 名

稼働率 97.6% (双葉園 97.2%、高嶋の家 100.0%)
 平均年齢 9.6 歳(最高 18 歳 最低 2 歳) 男女比率 3 : 4
 年間入所 6 名 主な入所理由 (被虐待)
 年間退所 5 名 主な退所理由 (家庭引取り、社会的自立)

【施設運営状況】

- 1) 新たに 2 箇所目の地域小規模児童養護施設(男子)の開設を目指し、物件探しや利用者の選定等準備を進め 23 年度 6 月開始の目途が立ちました。
- 2) 安心子ども基金を利用して、男子居室のリニューアル工事、女子トイレの改修工事、各階のミニキッチン設置工事を実施し利用者の生活・居住環境の改善を図りました。
- 3) 本園と高嶋の家合算の年間入所率は 97.6%で昨年の 90.6%を上回ることができました。児童相談所と連携し計画的で迅速な入所対応が功を奏しました。
- 4) 昭島市要保護児童対策協議会委員や小・中学校の学校評議員を務めるなど地域や学校との連携を深める取り組みを継続して行いました。
- 5) 第三者評価受審結果で改善が必要と助言された項目については新年度の事業計画に反映させ改善を図っていくこととしました。

【利用者支援状況】

- 1) 児童との面接を実施し個別の自立支援計画を作成しました。立川児相と小平児相の利用者については園と児童相談所との検討会議を開催し連携して利用者支援に当たりました。
- 2) 来年度開設予定の男子グループホームの異動候補児童と面接し、意思確認を行いました。拒否感の強い児童については、本人の意思を尊重し候補から外すなど柔軟に対応しました。
- 3) 杉並時代よりの裁縫ボランティアや学習ボランティアには継続して活動してもらっています。今年度は新たにギター指導や美容のボランティアも加わりました。
- 4) 与えられた条件下での小規模ケアの取り組みとして、グループのユニットで食事をすることや児童の集団を 15 名から 2 グループの縦割りにするなどの試みを始めています。
- 5) 利用者支援の根幹となる職員の人材育成については、法人や児童部会、東京都等が主催する研修に「個人別育成計画」や人事考課面接に基づいて積極的に参加し、資質の向上を図ってきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第 1 期(4~6月)		第 1 期(4~6月)	
パソコン購入	625	PC 購入	619
カラー複合機購入	730	利用者用 TV 購入	263
利用者用テレビ購入	540	洗濯機乾燥機購入	1,128

第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
ミニキッチンの設置工事	3,160		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
男子居室改修工事	3,100		
洗濯機乾燥機	1,319		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
二段ベッド購入	991	フルカラー複合機購入	721
		二段ベッド購入	991
		利用者テレビ購入	122
		ミニキッチン設置工事	2,688
		男子居室改修工事	2,394

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	19	19	19	21	21	21	21	21	20	20	21	21	244
女児	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	295
合計	43	43	43	45	45	46	46	46	45	45	46	46	539

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年 度	実人数	学 年 別 内 訳				
		幼児	小学生	中学生	高校生	その他
平成20年度	39	10	16	6	7	
平成21年度	45	10	20	8	7	
平成22年度	46	10	22	9	5	

(3) 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行いました。

いこいの家 定員 40名

稼働率 71.4%

(本入所)

平均年齢 44.8歳(最高74歳 最低22歳)

平均在所期間 2.9年(最長14.0年)

年間入所 11名 主な入所理由(居所なし)

年間退所 16名 主な退所理由(グループホーム等)

(緊急)

平均年齢 40.0歳(最高75歳 最低25歳)

同伴児者平均年齢 7.0歳(最高26歳 最低0歳)

年間利用者数 106名 主な入所理由(DV被害)

【施設運営状況】

1) 昨年度と同じように知的障害を持つ方が多く利用しています。昨年より本入所は減少しましたが一時保護が増加し、母子の利用が多くありました。

- 2) 女性の人権を守り、障害者施策（手帳の取得、障害者雇用の利用、グループホームの利用）ハローワークの利用など、さまざまな資源、施策を使って、その自立を支援しました。
- 3) 一時保護利用の子どもたちのために、保育室を整備し、保育士、心理士、支援員と協働しながら、安全、安心の提供と心のケアに努めました。
- 4) チームケアの徹底をはかり、OJT につなげました。法人研修、課題ごとの外部研修また施設間交流などで職員の育成をはかりました。
- 5) 女性相談センター、地域の福祉、障害者支援センターなどとの連携を密にし、サービスの向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1) 利用者一人ひとりの課題について、いろいろな角度から支援し、自己肯定間が得られるようにしてきました。
- 2) チームケアを強化し情報を共有化し、それぞれの職種が連携して利用者ニーズに応えました
- 3) 心理士を 2 名配置し、面接、遊び、コラージュ療法などを使い、またケース会議のスーパーバイザーの関わりなどを通して精神的ケアを行いました。
- 4) ステップハウスをそれぞれの課題に応じて使い、都営住宅、民間アパート、グループホーム等に自立できました。
- 5) 退所者自立生活援助事業を利用する高齢化が目立ち、社会不況とあいまって貧困に陥る方が多く、生活保護の需給の動向支援などを行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第 1 期(4~6月)		第 1 期(4~6月)	
トイレ改修工事	6,500		
1階個室シャワー設置工事	1,900		
監視カメラ設置外	2,500		
居室用テレビ購入	800		
第 2 期(7~9月)		第 2 期(7~9月)	
共同部分テレビ購入	400		
第 3 期(10~12月)		第 3 期(10~12月)	
		火災通報装置	420
		居室タイルカーペット張替え工事	966
		居室用テレビ 25 台	945
第 4 期(1~3月)		第 4 期(1~3月)	
		昭和郷変電所改修工事	543
		居室網戸取り付け工事	999
		1F 作業室パーテーション取付	535
		車購入	2,985
		警備監視カメラ	1,365

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本入所	28	24	25	24	24	24	24	19	21	20	21	21	275
緊急一時	12	3	3	3	10	3	0	4	5	6	6	9	64
合計	40	27	28	27	34	27	24	23	26	26	27	30	339

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年 度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		~34	~39	~44	~49	~54	~59	~64	65~
平成20年度	30	1	4	4	2	6	10	2	1
平成21年度	29	2	6	5	4	3	6	2	1
平成22年度	21	6	1	4	4	1	3	2	0

5 医療事業の経営

医療保護施設・医療施設

医療を必要とする要保護者に指定医療機関として、適切な医療の給付を行うとともに、地域の方々に対して安全な医療を提供しました。

昭島病院 定床 199 床 入院稼働率 82.1%

【経営状況】

- 1) 入院は、1 日平均患者数 163 人(前年度対比：-7 人)、入院診療収益として、15,163 千円減(前年度対比：0.8%ダウン)となりました。
- 2) 外来は、外来 1 日平均患者数 555 人(前年度対比：-14 人)、外来診療収益として、1,099 千円減(前年度対比：0.1%ダウン)となりました。
- 3) 入院の 1 日当り平均単価は、30,652 円となり前年度対比で+901 円となりました。外来の 1 日当り平均単価は、6,158 円となり前年度対比で+268 円となりました。

【診療状況】

- 1) 病床利用率は、82.1%となり前年度対比で、-2.4%となりました。
- 2) 平均在院日数は、18.7 日(前年度対比：+0.3 日)となりました。
- 3) 救急車受入台数は、1,110 台(93 台/月)となり、前年度対比で+28 台(+3/月)となりました。
- 4) 手術件数は、395 件(33 件/月)となり、前年度対比で-5 件(±0/月)となりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第 1 期(4~6 月)		第 1 期(4~6 月)	
電気メス	4,136	電気メス	1,644
ベッド	3,500	CS 医事システム	56574
CS 医事システム	49,800	外科手術用バイポーラシーガス	207
採血静注シミュレータ	190	医事システム機能追加	804
第 2 期(7~9 月)		第 2 期(7~9 月)	
下肢加重計	3,675	ハーモニックエンシール本体	1722
マイクロパイロ	1,000	歯科用デジタルパノラマ	3518
SPDシステム	2,100	十二指腸ビデオスコープ	2835
ごみ貯留排出装置	9,450	ベッド	3643
		医師別在院患者一覧表	777
		歯科レセプト電算一式	1,155
		重症度看護必要度機能追加	3308
第 3 期(10~12 月)		第 3 期(10~12 月)	
テクニートアコルデ	3,970	CPM 装置	735
薬袋発行機	2,142	イエローフィン	788

冷蔵庫	773	パソコン(3台)	344
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
デジタルX線透視撮影システム	39,900	感染症改修工事	1,390
超音波画像記録装置	8,400	陰圧装置(3台)	6,000
歯科用X線撮影システム	2,730	人工呼吸器	5,082
自動錠剤包装機	6,804	ベッドサイドモニタ	1,470
		ポータブルレントゲン	29,106
		セントラルモニタ	17,115
		外科用X線装置	5,880
		X線TV装置	29,085
		超音波診断装置	6,405
		パルスオキシメータ	3,396

患者数実数

年度	1日あたり平均患者数	
	外 来	入 院
平成20年度	603	175
平成21年度	569	170
平成22年度	555	163

減免内訳

		区 分	件 数	金 額
入 院	実 人 員	生活保護	127	
		健保・国保	8	
		無	0	
		計	135	
入 院	延 人 員	生活保護	3,228	883,560
		健保・国保	219	359,531
		無	0	0
		計	3,447	1,243,091
外 来	延 人 員	生活保護	0	0
		健保・国保	0	0
		無	2	9,060
		計	2	9,060
その他				464,168
合 計			3,449	1,716,319

昭島病院訪問看護ステーション

1日平均利用者数 13.0名 男女比率 4:6
平均年齢 81.7歳 (最高 99.0歳 最低 52.0歳)
介護保険延人数 74名 医療保険延人数 11名 計 85名

【施設運営状況】

- 1) 4年目になり、安定した利用者と訪問回数が確保できたため、順調な運営ができています。
- 2) 毎年開催している家族会が好評でした。

【利用者支援状況】

- 1) 医療訪問回数が月平均 34回、介護保険訪問回数が月平均 393回となりました。
- 2) 訪問回数は、月平均で 42回増加し、1日平均 13.3回訪問と前年度より 3.3回増加しました。
- 3) 緊急時訪問については、前年度対比で 2割増えました。

【施設整備状況】

特になし

利用状況 (月刊延訪問者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	20	19	19	20	22	21	25	24	20	21	19	19	249
女性	42	43	45	42	41	43	44	44	44	44	43	48	523
合計	62	62	64	62	63	64	69	68	64	65	62	67	772

6 収益事業の経営

定款に定める本会事業の円滑な運営を期するため、次の収益事業を行いました。

1 オフセット・活版印刷事業

事業局

職員数 13 名により主に官公庁を顧客として、デザイン、レイアウト・印刷・製本の印刷全般はもとより、発送代行等の諸事業を行い、300 万円の本部経理区分への繰り入れを行いました。

2 駐車場その他不動産に関する事業経営

下記の事業を行い、800 万円本部経理区分への繰り入れを行いました。

富士見町駐車場

旧サンホーム跡地を活用し、駐車場として経営を行いました。

原町ホーム土地賃貸業

原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与しました。

昭島病院駐車場

昭島病院の東側敷地を活用し、時間貸しの駐車場として経営を行いました。

三 職員福利厚生制度

本年度の職員福利厚生事業は下記のように実施しました。

- 1 永年勤続者表彰
10年勤続者 15名 20年勤続者 12名 30年勤続者 6名

定年退職者表彰（定年退職前勤続10年以上の職員対象）
8名
- 2 人間ドック健診助成の実施
40歳、50歳 受診 12名 60歳 受診 2名

婦人科検診助成の実施（35歳以上の女性職員対象）
乳がん検診 受診 310名 子宮がん検診 受診 259名
- 3 福利厚生センター事業の利用
ソウエルクラブ 年間加入 768名
- 4 職員メンタルヘルスケアへの取り組み
EPA（従業員支援プログラム） 21年7月～
職員らなびに家族（同居）休職者・復帰者への支援カウンセリングの実施

相談件数 38件 利用者延数 27名
- 5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営 昭島市中神町 1260
定員 10名 保育時間 7時～21時
0歳（生後2カ月）から小学校就学前までの職員の児童を預かり保育

月極保育利用 年間延べ 101名
一時保育利用 年間延べ 13名

四 理事会及び評議員会

定款の定めにより、下記の理事会、評議員会を開催しました。

1 理事会

- 第1回 平成22年5月26日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正、田中紀久子、
殿塚典彦、(書面出席者：多久島耕治)9名
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長
議 事：平成21年度事業報告、平成21年度決算報告、昭島病院給与規程一部改正、
介護情報処理・介護報酬請求ソフト購入等(特別養護老人ホーム) 評議員
改選、中央競馬馬主社会福祉財団助成金申請(ニューフジホーム機械式浴槽
購入)
- 第2回 平成22年5月30日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正、田中紀久子、
殿塚典彦、(書面出席者：多久島耕治)9名
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
議 事：理事長互選、常務理事指名、理事長並びに常務理事の役員報酬、監事の役員
報酬、理事長職務の代理指名、昭島病院担当理事の委嘱
- 第3回 平成22年9月22日 於：原町ホーム会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、田中紀久子、殿塚典彦
(書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正)9名
監事：五十嵐力平 1名
欠席者監事：鈴木道生 1名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
議 事：サンライズ武蔵野・むさしの保育園改築工事の契約方法等、評議員
選任
- 第4回 平成22年10月13日 於：原町ホーム会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、田中紀久子、殿塚典彦
(書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正)9名
監事：五十嵐力平 1名
欠席者監事：鈴木道生 1名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
議 事：サンライズ武蔵野・むさしの保育園改築工事の指名業者選定

第5回 平成22年10月26日 於：原町ホーム会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、原山陽一、志茂威、品川卓正、
田中紀久子、殿塚典彦 8名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

欠席者：橋本泰子 1名

議事：平成22年度第1次補正予算、定款一部変更、臨時職員就業規則一部改正、
サンライズ山中事業廃止、平成22年度東京都指導検査による指摘事項及び
改善報告、平成22年度新規採用状況、(仮称)原町高齢者複合施設建設、昭
島病院感染症診療医療機関の指定

第6回 平成22年11月24日 於：原町ホーム会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、田中紀久子、殿塚典彦

(書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正)9名

監事：五十嵐力平 1名

欠席監事：鈴木道生 1名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議事：昭島病院東京都感染症診療医療機関施設・設備整備費補助金(物品買入)に
係る契約方法等、サンライズ武蔵野・むさしの保育園改築工事の入札結果及
び契約

第7回 平成23年2月16日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正、
田中紀久子、殿塚典彦 9名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議事：平成22年度第2次補正予算、児童養護施設グループホーム増設(双葉園)、
知的障害者グループホーム増設(さやま園)施設長人事、(仮称)原町高齢
者複合施設建築設計コンペの結果、昭島病院「東京都感染症診療医療機関施
設・設備整備費補助金による物品買入等」の入札結果

第8回 平成23年3月23日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正、
田中紀久子、殿塚典彦 9名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議事：平成23年度事業計画、平成23年度予算、定款一部変更、組織規程一部改正、
経理規程一部改正、運営規程制定及び一部改正(さやま園、小茂根福祉園、

立川福祉作業所、居宅介護支援事業所) 専決規程一部改正、職務権限規程一部改正、給与規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、事業所内保育施設の定員変更、評議員選任、サンライズ武蔵野・むさしの保育園改築工事の進捗状況、施設業務委託寝具・リネン類賃貸借契約の入札結果及び契約

理事及び監事一覧(任期:平成24年5月29日まで)

理事長	牧野 洋一	常務理事	菅原 眞廣	理事	多久島耕治
理事	橋本 泰子	理事	原山 陽一	理事	志茂 威
理事	品川 卓正	理事	殿塚 典彦	理事	木村 美子
監事	鈴木 道生	監事	五十嵐力平		

2 評議員会

第1回 平成22年5月26日 於:原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

出席者:古屋正義、小山寿、小林順吾、高橋恭一、本山美八郎、川向良和、飯山幸雄、岡橋生幸、戸塚洋子、木村美子、六本木尚、相原幸仁、南山徳英、水谷貞子、牧野洋一、菅原眞廣 16名

監事:鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他:山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長

欠席者:坂井利夫、槇島房子、堀茂 3名

議事:平成21年度事業報告、平成21年度決算報告、理事・監事改選、平成21年度第7回理事会議決事項

第2回 平成22年10月26日 於:原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

出席者:坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、田中幸子、川向良和、堀茂、戸塚洋子、木村美子、六本木尚、南山徳英、水谷貞子、神田祐一、牧野洋一、菅原眞廣 15名

監事:鈴木道生 五十嵐力平 2名

その他:山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

欠席者:本山美八郎、飯山幸雄、比留間由真、岡橋生幸 4名

議事:平成22年度第1次補正予算、定款一部変更、平成22年度第1~4回理事会議決事項、サンライズ山中事業廃止、平成22年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、平成22年度新規採用状況

第3回 平成23年2月16日 於:原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

出席者:坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、木村美子、六本木尚、南山徳英、水谷貞子、神田祐一、牧野洋一、菅原眞廣 19名

監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議 事：平成 22 年度第 2 次補正予算、平成 22 年度第 5、6 回理事会議決事項、（仮称）原町高齢者複合施設建築設計コンペの結果、昭島病院「東京都感染症診療医療機関施設・設備整備費補助金による物品買入等」の入札結果

第 4 回 平成 23 年 3 月 23 日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2 階会議室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、岡橋生幸、戸塚洋子、木村美子、六本木尚、南山徳英、水谷貞子、神田祐一、牧野洋一、菅原眞廣 18 名

監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

欠席者：堀 茂 1名

議 事：平成 23 年度事業計画、平成 23 年度予算、定款一部変更、理事選任、平成 22 年度第 7 回理事会議決事項、サンライズ武蔵野・むさしの保育園改築工事の進捗状況

評議員一覧（任期：平成 24 年 5 月 29 日まで）

坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	小林 順吾	本山美八郎
田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄	比留間由真	堀 茂
岡橋 生幸	戸塚 洋子	田中紀久子	六本木 尚	南山 徳英
水谷 貞子	神田 祐一	牧野 洋一	菅原 眞廣	

五 施設長会及び各種委員会

1 施設長会議

法人事業全般にわたる事項について、事務局からの報告、連絡及び提案等の協議を行うための施設長会を開催しました。

- 4月 平成22年4月7日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
評議員会・理事会(22.3.24)決定事項の報告
新施設長紹介、各種委員会・施設長会議の運営について
21年度2月分月次実績報告
各種委員会・各グループ報告
- 5月 平成22年5月7日(金) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
21年度3月分月次実績報告
22年度職員採用スケジュールについて
職員のメンタルヘルスケアについて
各種委員会・各グループ報告
- 6月 平成22年6月2日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
評議員会・理事会(22.5.26)決定事項の報告
21年度決算報告、21年度事業報告
21年度有給休暇及び夏季休暇取得率について
夏季賞与の支給について
各種委員会・各グループ報告
- 7月 平成22年7月7日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
5月分月次実績報告
予備費使用、科目間流用について、会計事務所との契約について
備品管理要綱について、職員親睦会助成金にかかる指針について
法人事務局拡張工事について、各種委員会・各グループ報告
- 9月 平成22年9月1日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
7月分月次実績報告
平成22年度第1次補正予算について
福祉サービス研究発表会について、永年勤続者表彰式について
各種委員会・各グループ報告
- 10月 平成22年10月6日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
8月分月次実績報告
新卒採用応募状況について、各種委員会・各グループ報告
- 11月 平成22年11月10日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

評議員会・理事会（22.9.22、22.10.13、22.10.26）決定事項の報告
9月分月次実績報告、
人事関係日程について、管理職試験の実施について
冬季賞与の支給について
各種委員会・各グループ報告

12月 平成22年12月1日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
10月分月次実績報告、平成22年度第2次補正について、
財務システム、就業管理システムの更新について
新規採用応募状況について、各種委員会・各グループ報告

2月 平成23年2月2日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
12月分月次実績報告
仮称「原町高齢者複合施設」建設にかかるスケジュールについて
各種委員会・各グループ報告

3月 平成23年3月2日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
評議員会・理事会（23.2.16）決定事項の報告
施設長の異動について、1月分月次実績報告
辞令交付の日程について、定年退職者の表彰について
各種委員会・各グループ報告

2 各種委員会

平成 22 年度事業計画の定めにより、下記の委員会を設け業務を遂行しました。

(1) 総合企画委員会

委員： 山川 浩一 佐々木 末廣 金田 幸雄
木村 美子 南山 徳英 田中紀久子 田口 道子 神田 祐一
水谷 貞子 鎌田 弘道 小堀 和子 小林 一江 長沼 君夫

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議しました。
法人の重要事項について議論し、理事長へ意見を進達する機関としました。

第 1 回 平成 22 年 4 月 7 日 於：原町ホーム

- ・ 平成 21 年度 2 月分事業実績について
- ・ 各種委員会、施設長会の運営、年間計画について
- ・ 情報システム委員会について

第 2 回 平成 22 年 5 月 7 日 於：原町ホーム

- ・ 平成 21 年度 3 月分事業実績について
- ・ 後援会総会の開催について ・ 23 年度採用計画について
- ・ メンタルヘルスケアの取組みについて
- ・ 昭島市包括支援センターについて

第 3 回 平成 22 年 6 月 2 日 於：原町ホーム

- ・ 21 年度決算報告について
- ・ 休暇の取得状況について ・ 夏季賞与の支給について

第 4 回 平成 21 年 7 月 7 日 於：原町ホーム

- ・ 5 月分事業実績について ・ 備品管理について
- ・ 福利厚生について ・ 法人事務局の拡張工事について
- ・ システム担当者選任について

第 5 回 平成 22 年 9 月 1 日 於：原町ホーム

- ・ 6～7 月分事業実績について ・ 22 年度第一次補正予算について
- ・ 職員ハンドブックについて ・ 福祉サービス研究発表会について
- ・ 永年勤続者表彰式について

第 6 回 平成 22 年 10 月 6 日 於：原町ホーム

- ・ 8 月分事業実績について ・ 22 年度 10 月理事会議案について
- ・ 新卒採用応募状況について ・ 苦情処理委員会について

第 7 回 平成 22 年 11 月 10 日 於：原町ホーム

- ・ 9 月分事業実績について
- ・ 職員採用状況について ・ 人事関係日程について
- ・ 情報システム管理要綱(案)について ・ 施設短期計画について

第 8 回 平成 22 年 12 月 1 日 於：原町ホーム

- ・ 10 月分事業実績について

- ・ 職員採用状況について ・ グループホーム開設計画について
 - ・ 情報システム管理要綱、研修について ・ システム更新予定について
- 第9回 平成23年2月2日 於：原町ホーム

- ・ 11～12月分事業実績について
- ・ 仮称「原町高齢者複合施設」建設にかかるスケジュールについて
- ・ システム更新予定について

第10回 平成23年3月2日 於：原町ホーム

- ・ 1月分事業実績について
- ・ 発令について ・ 施設長の異動について

(2) 人事委員会

委員： 菅原 眞廣 山川 浩一 佐々木 末廣 金田 幸雄
田中 紀久子

職員に関する懸案等について検討しました。

(3) 規程整備委員会

委員： 佐々木 末廣 山川 浩一
豊野 秀一 相原 幸仁 神田 祐一 田中紀久子 木村 美子
上林 唱子 南山 徳英 水谷 貞子 石井 好子 中島 昭

法人の組織、人事、給与、及びその他諸制度に関する規程について検討し整備しました。

第1回 平成22年4月

- ・ 平成22年度規程整備委員会の活動計画について
- ・ 平成21年度人事考課の総括と22年度考課の課題について

第2回 平成22年5月

- ・ 平成21年度休暇の取得状況について
- ・ 平成22年度処遇改善交付金について
- ・ メンタル不調者にかかる休職・復帰規程について

第3回 平成22年6月

- ・ 各種規程のについて
- ・ メンタル不調者にかかる休職・復帰規程について
- ・ 階層別人事考課の課題について

第4回 平成22年7月

- ・ 各種規程の整備について
- ・ 委員会による階層別人事考課の主体的検討について
- ・ 障害者雇用促進法改正内容の施行について

第5回 平成22年10月

- ・ 最低賃金の改正に伴う臨時職員賃金（清掃等）改正について
- ・ 階層別人事考課の内容検討について

第6回 平成22年11月

・職員給与について

第7回 平成22年12月

・育成手当等について・臨時職員賃金改定について

・各種規程の整備について

第8回 平成23年1月

・手当改正案について（育成手当等）

・各種規程の整備について

（4）職員研修委員会

委員： 佐々木 末廣

東 俊郎 原田 浩二 折居 千恵子 鎌田 弘道 宮本 浩史

林 美枝 栗原 茂夫 山中 誠一 森 浩美

法人職員の研修に関し企画、実施しました。

委員会開催状況

- 1) 第1回 平成22年4月27日 於 原町高齢者在宅サービスセンター
・年間研修計画担当決定について ・基礎研修について
・福祉サービス研究発表会の準備について
- 2) 第2回 平成22年5月21日 於 フジホーム
・中級研修について ・コンプライアンス研修について
・福祉サービスプレ発表会について ・基礎研修報告について
- 3) 第3回 平成22年6月18日 於 原町高齢者在宅サービスセンター
・中級研修報告について ・施設長研修について ・コンプライアンス研修について
・福祉サービスプレ発表会について
- 4) 第4回 平成22年7月16日 於 原町ホーム
・福祉サービス研究発表会準備について ・メンタルヘルス研修報告について
・コンプライアンス研修について
- 5) 第5回 平成22年8月24日 於 原町高齢者在宅サービスセンター
・施設長研修について ・コンプライアンス研修について
・9月実施研修について ・福祉サービス研究発表会について
- 6) 第6回 平成22年9月24日 於 フジホーム
・施設長研修報告について ・コンプライアンス研修報告について
・9～10月の研修内容について ・福祉サービス研究発表会の準備について
- 7) 第7回 平成22年10月19日 於 原町高齢者在宅サービスセンター
・新任職員フォローアップ研修について ・福祉サービス研究発表会について
- 8) 第8回 平成22年12月14日 於 原町高齢者在宅サービスセンター
・平成23年度法人研修計画について
- 9) 第9回 平成22年12月24日 於 ひかり苑
・福祉サービス研究発表会アンケートについて ・平成23年度階層別研修について

- 10) 第10回 平成23年1月14日 於 フジホーム
 ・新任研修について ・来年度研修計画について
- 11) 第11回 平成23年2月17日 於 フジホーム
 ・新任研修2日間の行程等について
 3月の研修委員会については東日本大震災により中止しました

研修実施状況

実施日	研 修 名	目 的
5月 14日	基礎研修 (経験年数1~3年) H22.5.14(金) 9:00~17:00 「組織人としての存在価値を高める」 ・ 組織活動の基本 ・ 組織活動におけるチームワーク ・ 組織活動におけるコミュニケーション ・ 組織活動における業務改善 ・ グループ討議・発表 参加者 40名 講師 (株)エイデル研究所 村松 博氏	・ コミュニケーション技術を身につける ・ 職場におけるチームワークの意識
6月 12日	中級研修 (経験年数5年程度) H22.6.11(金) 9:00~17:30 「自己理解と期待役割の明確化」 ・ 優秀な人材の特徴、対人関係能力 ・ 自分で自分を考える、自己診断・発表 ・ 期待役割の明確化、自己取組課題の明確化 ・ 実習・グループ討議・発表 参加者 30名 講師 (株)ビジネスコンサルタント 久保江 康氏	・ 優秀な人材の特徴(能力×意欲×考え方)を理解する ・ 自己理解を深め、対人関係能力の向上への啓発ポイントを見出す ・ 自己に期待される役割を理解し、今後の取組み課題を明確にする
6月2日 7月7日 8月 26日	管理職研修(施設長) H22.6.2(水) 9:00~17:30 「戦略上位概念と戦略思考」 H22.7.7(水) 9:00~17:00 「組織の4つの要素と革新」 H22.8.26(木) 9:00~17:00 「組織変革のリーダーシップ」 参加者 32名 講師 (株)ビジネスコンサルタント 久保江 康氏	優良組織を創造するための条件を理解する 法人の戦略上位概念を踏まえて、福祉業界の変化、競争相手の動向を踏まえての戦略を立案する思考、考え方、手法を理解する 法人の戦略上位概念、施設ミッション及び戦略計画を効果的に遂行するために必要な組織の4つの革新(業務、構造、意識、組織文化革新)を推進する際のポイントを理解する 組織の4つの革新を推進する際に生ずる問題、懸念、不安に対してど

		のように対応し、効果的にマネジメントしていけば良いかを理解する
7月 15日	課題別研修 メンタルヘルス研修 H22.7.15(木) 9:00~17:00(主任・副主任) 「現場リーダーに求められるメンタルヘルスの対応」 参加者 32名	メンタルヘルスが必要となっている具体的事例に対して現場のリーダーがどのように対応して行くべきなのかを学ぶ
9月9日	H22.9.9(木) 9:00~17:00(現場職員) 「現場職員に求められるメンタルヘルスの対応」 参加者 29名 ・職場不適応者への対処の仕方復帰のポイント ・カウンセリングマインドで聴く ・事例を基に具体的に検討し学ぶ 講師 ヒューマンフロンティア(株) 土門 京子氏	メンタルヘルスが必要となっている具体的事例に対し現場の職員がどのように対応して行くべきなのかを学ぶ
8月 31日	課題別研修 コンプライアンス研修(副施設長 又は課長・主任等) H22.8.31(火) 9:00~17:00 「ケースメソッドを活用し、コンプライアンスに関する問題の分析と解決策について考える」 ・ハラスメント防止の重要性と意義を正しく理解する ・職員から相談があった時の対応方法や考え方を学ぶ ・自らが加害者にならないための考え方を習得しておく 参加者 29名 講師 (株)ビジネスコンサルタント 松岡 水貴氏	・ハラスメントにおける基礎知識を正しく理解する ・信頼関係で結ばれるような人間関係の構築を目指す
9月 16日	上級研修(経験年数10年程度) 「上級職員に求められる職場開発スキル」 3つのポイントを理解する H22.9.16(木) 9:00~17:00	「職場開発(活性化)スキルのポイントを理解する」 ・自職場を取り巻くビジネス環境変化に対し、ミッションの検討を行う
10月 7日	H22.10.7(木) 9:00~17:30 ・職場を取り巻くビジネス変化に対して職場の方向付け ・職場が効果的に機能するあり方を知る。 ・職場の変革テーマを考え、職場規範を変えるスキルを身につける。 ・実習・グループ討議・発表	・変革のテーマの選択と決定 ・力の場の分析と解決策の案出、評価、決定

	<p>参加者 25 名 講師 (株)ビジネスコンサルタント 久保江 康氏</p>	
<p>9月3日 10月28日 11月12日</p>	<p>副施設長研修（副施設長） H22.9.3(金) 9:00~17:30 「マネジメントの2大機能：戦略的機能と業務的機能を理解する」 参加者 18名 H22.10.39(木) 9:00~17:30 「戦略的思考とは何かを理解する」 参加者 18名 H22.11.12(金) 9:00~17:00 「財務諸表の分析、自施設の財務分析」 参加者 15名 講師 (株)ビジネスコンサルタント 久保江 康氏 (11/12) 平野 健一郎氏</p>	<p>自事業のミッションを理解する 戦略マップ(成果領域の因果関係図)と定義を明確にする 管理職として必要な係数感覚を高め、財務的観点からの問題解決能力を高める 戦略的思考とは何かを理解する 戦略的重点課題の立案方法を身につける</p>
<p>10月27日</p>	<p>新任フォローアップ研修 (平成22年度新規採用正規職員) H22.10.27(水) 9:00~17:00 ・「半年間の職場生活の振り返り、今後の目標を設定する。」 参加者 37名 講師 (株)ビジネスコンサルタント 渡辺 考二郎氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・変革の時代のビジネスパーソンに求められること ・半年間の職場生活の振り返りを行う ・職場で求められるコミュニケーションスキルの習得 ・次のステップへ向けた目標の設定
<p>11月26日</p>	<p>第三回福祉サービス研究発表会 H22.11.26(金) 13:00~17:00 会場 中野 ZERO ホール小ホール 来場者 346名 各グループから事例研究発表 児童女性支援系「精神ケアに向けて」 保育支援系 「子どもの運動能力の向上を目指して」 障害者支援系「親なきあとを考える」 高齢者支援系「心躍る音楽を奏でよう」</p>	<p>2カ年の各福祉サービスグループの研究成果を、福祉を志している学生や一般市民の皆様にも広くお伝えし、地域と協働する福祉を創造していくことを狙いとしたもの</p>

12月	<p>課題別研修 人事考課研修 考課者を対象にグループ別に実施 ・制度実施5年目の適切な運用を目指し、人事考課者への研修を行う。 講師 佐々木総務部長</p>	人事考課実践のフォローアップ
H23年 1月 13日	<p>課題別研修 経理・庶務担当研修 (契約及び事務に関わる施設事務職員、参加を希望する管理職) H23.1.13(木) 13:30~17:30 「文書管理の基礎を学ぶ」 ・契約の意味、事務手続き ・意思決定の流れ 参加者 46名 講師 法人事務局職員 佐々木 未廣・山川 浩一 小林 一江・品川 克美</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・契約についての基本(意味、手続きなど)及び各種文書の書き方の基本を学ぶ ・内部意思決定の流れを学ぶ
1月 21日	<p>課題別研修 情報システム研修 H23.1.21(木) 15:00~17:30 「各施設の情報システム管理について」 参加者 42名 講師 埼玉ITコーディネータ 土橋 康夫氏 情報システム委員</p>	情報システム管理要綱、パソコン使用マニュアルを理解し、施設のシステムを安全に管理できるようにする
1月 20日	<p>新規採用内定者研修会 H23.1.20(金) 9:00~13:00 「同援の福祉サービスの現状や課題・目標を理解する」 参加者 25名 講師 佐々木総務部長 立川福祉作業所 副所長 山中 誠一 原町ホーム 介護員 佐藤 輝 同援みどり保育園 保育士 柏 綾 双葉園 児童指導員 根元 将大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同援職員として「真の福祉の実現」には、同援の基本的な仕組みや実績の正確な理解が必要になることを確認する ・今後のスケジュール説明や給与規程・就業規則等の説明 ・会食をし親睦を深める
2月 25日	<p>課題別研修 リスクマネジメント研修 H23.2.25(金) 14:00~17:00 ・利用者の安心安全を目指した啓発、事故防止、適切な対応 ・新たな事例を分析し、事例から学ぶ 参加者 29名 講師 (株)アイギス 代表取締役 脇 貴志氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安心安全を目指した啓発、事故防止、適切な対応を目指す。 ・職員の資質の更なるレベルアップ

3月 10.11日	新任研修(新任採用者及び準ずる者) H23.3.10(木) 9:00~17:30 ・ 接遇マナーの基本 ・ ビジネスマナー演習、ロールプレイング 参加者 43名 講師 (株)モット 島田 正代氏 アシスタント 江田氏、小寺氏	新任研修(新任採用者及び準ずる者) ・ 組織人としての接遇マナーの基本を習得する ・ 職場研修の基本動作・コミュニケーションの基本を学び、チームで問題解決する Engine を学ぶ
	H23.3.11(金) 9:00~17:30 ・ 仕事の進め方、ポイントを学ぶ ・ 報告、連絡、相談、ビジネス文書 ・ コミュニケーション、チームワークを実習を通して学ぶ ・ LIFO(自己診断) 参加者 38名 講師 (株)ビジネスコンサルタント 渡辺 考二郎氏	

グループ別研修実施状況

1) 高齢者支援系

実施月	研 修 名	目 的
6月 18日	ブンネ法導入サポート研修 H22.6.18(土) 13:30~17:30 ブンネ法の説明、模範演奏、演奏実施体感 参加者 15名 講師 スウェーデンクオリティケア(株)	高齢者介護の質の向上を目指す
7月 9日	新任職員研修(採用1年未満) 「フレッシュマンフォローアップ研修」 参加者 14名 講師 ひかり苑 副園長 守山 文雄氏	利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と理論を学ぶ
H23年 2月	施設間交換研修 参加者 11名	職員のスキルアップ及びモチベーション
2月 18日	新任職員フォローアップ研修 参加者 8名 講師 ひかり苑 副園長 守山 文雄氏	半年間の振り返りを行い、今後の目標等定める

2) 障害者支援系

実施月	研 修 名	目 的
6月 12日	基本的ビジネスマナーを身につける H22.6.12(土) 9:30~16:00 自己の印象管理をし、基本マナー「5原則」を学ぶ 参加者 14名	障害者支援系グループの若年層の職員の人材育成を行い、安定した人材確保と支援の向上を図る
10月 9日	H22.10.9(土) 9:30~16:00 訪問、対応の基本、及びコミュニケーションサイクロと苦情対応を学ぶ 参加者 16名	
12月 4日	H22.12.4(土) 9:30~16:30 仕事の進め方とこれまでの振り返り 参加者 14名 講師 株モット 島田 正代氏 参加者延べ44名	
6月 8月 12月	施設間人事交流研修 参加者 8名	他施設の業務などを見学、その中から自施設の振り返りを行う
6月 5日	ブネ法導入サポート研修 H22.6.5(土) 13:00~17:30 ブネ法の説明、模範演奏、演奏実施体感 参加者 23名 講師 スウェーデンクオリティケア(株)	障害者支援の質の向上を目指す
H23年 1月 28日	全体職員研修 「2009、2010 福祉サービス研究発表会、研究発表内容勉強会」 参加者 85名 講師 研究発表会発表者	専門知識の向上を図る

3) 保育支援系

実施月	研 修 名	目 的
4月 10日	保育園での危機管理について学ぶ H22.4.10(土) 13:30~16:30 参加者 115名 講師(株)アイギス 代表取締役 脇 貴志氏	保育園での危機管理について学ぶ
6月 26日	講演「子どもの成長と保育士のかかわり(幼児)」 H22.6.26(土) 13:30~16:30 参加者 111名 講師 山梨大学教育人間学部 教授 加藤 繁美氏	保育士がもう一度保育園の役割を認識し、保護者、子ども達と共に育ち合える保育に取り組んでいけばよいのかを学ぶ
12月 8日	平成22年度人事考課研修 講師 総務部長 佐々木 末廣 参加者 16名[園長・副園長・主任]	人事考課を同じ認識で行うよう考課の基準や公平性を学ぶ
23年 1月 22日	講演「子どもの脳の発達と運動の関係」 H23.1.22(土) 13:30~15:30 参加者 96名 講師 松本短期大学 教授 柳沢 秋孝氏	日々の保育実践の中で子どもの見方がさらに深まり今後の保育にいかせるように学ぶ

4) 児童・女性支援系

実施月	研 修 名	目 的
9月~ 12月	次世代人材育成研修(全5回) 参加者 8名(延べ40名) 講師 岡橋 生幸氏	人材育成を目的とする
6月 23日	生きづらさを抱える利用者への支援を学ぶ 「発達障害のある子への支援について」 参加者 25名 講師 精神科クリニック こどもの園 菊地 春樹氏	支援の難しい課題を持った利用者が増加している。発達障害、PTSD、依存症等の理解と対応
2月 18日	「精神障害について学ぶ」 参加者 25名 講師 防衛医大精神科医 佐野 シンヤ氏	
11月~ 2月	・グループ内施設交流研修(3日間) ・グループ外施設(障害者支援系)交流研修	他業種、他施設での研修を通して連携を必要とされている三業種の理解を深めると共に、職員の視野を広げ資質向上を図る

(5) 広報委員会

委員 佐々木 末廣

山下 弘子 清水 恵子 田口 弘子 長者 政孝 高橋 百合子

岡本 勝己 工藤 かおる 飯島 一憲 長谷部 重行 荒井 隆夫

阿部 英子

「同援だより」の発行、ホームページの更新等、本法人の広報活動に関し企画、実施しました。

- 第1回 平成22年4月26日(月) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・同援通信について ・施設概要について
・同援史について ・同援だよりについて
- 第2回 平成22年5月31日(月) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・同援だより盛夏号について
- 第3回 平成22年7月30日(月) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・盛夏号の反省 ・秋号について ・その他
- 第4回 平成22年9月14日(火) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・同援だより秋号の内容について
- 第5回 平成22年11月16日(火) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・秋号の反省 ・新春号について
- 第6回 平成23年1月25日(火) 於：昭和郷事務所
・東京都同胞援護会のあゆみ資料整理について

・同援通信委員会

委員 佐々木 末廣

山下 弘子 岡本 勝己 工藤 かおる

二場 美由紀 泰 淳子 吉田 章 薄井 正和

「同援通信」を発行しました。

- 第1回 平成22年7月9日(金) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・同援通信今年度の予定について ・同援通信 No.9
- 第2回 平成22年8月25日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・同援通信 No.9 校正
- 第3回 平成22年11月11日(木) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・同援通信 No.10 編集
- 第4回 平成23年3月8日(火) 於：原町高齢者在宅サービスセンター
・同援通信 No.11 編集

(6) リスクマネジメント委員会

委員： 金田 幸雄
石川 宜子 相澤 靖 小堀 和子 池田 清彦
池田 康子 田代 秀之

法人事故報告書、法人苦情解決報告書の作成と法人の苦情解決第三者の選定を行いました。

- 第1回 平成22年4月23日 於：原町高齢者在宅サービスセンター
22年度計画について
- 第2回 平成22年6月25日 於：原町ホーム
法人事故報告書、法人苦情解決報告書の作成について
各施設の苦情解決第三者委員集約
- 第3回 平成22年8月5日 於：サンライズ武蔵野
法人苦情解決第三者委員について
法人事故報告書、苦情解決報告書について
- 第4回 平成22年10月22日 於：弁護士会館
法人苦情解決第三者委員依頼
- 第5回 平成22年10月7日 於：田園調布学園大学
法人苦情解決第三者委員依頼
- 第6回 平成22年12月2日 於：原町高齢者在宅サービスセンター
法人苦情解決第三者委員について

(7) 人事考課評価委員会

委員： 菅原 眞廣 佐々木 末廣
南山 徳英 神田 祐一 田中 紀久子 木村 美子

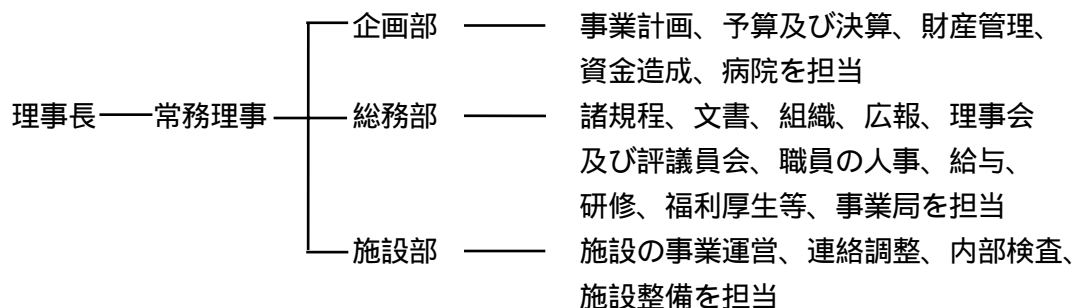
職員人事考課規程第9条に基づく職員からの異議がなかったため、開催しておりません。

印は委員長

六 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図るため、企画部・総務部・施設部の三部制により業務を行いました。

1 組織



2 事業計画・予算等の総括

平成 21 年度事業報告、決算等の原案、平成 22 年度事業計画、予算及び補正予算の原案等を取りまとめ、評議員会及び理事会に提案し、承認を得ました。

3 指導検査・法人内部検査

東京都による指導検査

東京都による施設の適正運営のための指導検査は、下記により行われました。

特別養護老人ホーム及び短期入所においては、施設サービス計画原案等の同意日の記入漏れ、建物の使用及び用途の変更に係る許可、ナースコールの一部未設置について、養護老人ホームにおいては、事故発生防止のための指針の未整備について等の指導がなされ、速やかに改善しました。

昭和郷保育園	6月 8日	昭和郷第二保育園	6月 15日
ゆたか苑	9月 6日	ひかり苑	9月 7日
万世敬老園	9月 8日	昭島荘	10月 1日
双葉園	11月 2日	同援さくら保育園	11月 4日
東村山生活実習所	11月 8日	立川福祉作業所	11月 9日
法人	2月 8日	サンライズ万世	2月 17日
サンライズ武蔵野	2月 18日	サンライズ青山	2月 24日

市及び区による指導検査

介護保険法に基づく居宅介護支援事業所の実地検査は、下記により行われ、居宅サービス計画作成時の課題把握を適切に実施すること等の指導がなされ、速やかに改善しました。

ゆたか苑指定居宅介護支援事業所	7月15日	豊島区
フジホーム指定居宅介護支援事業所	9月7日	昭島市
ひかり苑指定居宅介護支援事業所	12月13日	東村山市

法人内部検査

経理規程及び内部検査実施要綱に基づき、事務局職員による内部検査を下記のとおり実施しました。検査員からの指摘事項は速やかに改善しました。

昭和郷保育園	6月1日	昭和郷第二保育園	6月4日
サンライズ山中	6月15日	むさしの保育園	6月17日
サンライズ青山	6月22日	ゆたか苑	6月29日
サンライズ万世	7月1日	ひかり苑	7月6日
サンライズ武蔵野	7月13日	つつじが丘保育園	7月15日
同援さくら保育園	7月22日	万世敬老園	9月2日
昭島荘	9月14日	さやま園	9月16日
東村山生活実習所	9月30日	さいわい福祉センター	10月5日
立川福祉作業所	10月7日	フジホーム・フジデイ	10月14日
大山保育園	10月19日	双葉園	10月21日
ライトホーム・かえで	10月26日	さくらんぼ	10月28日
ニューフジホーム	11月9日	同援みどり保育園	11月16日
いこいの家	11月25日	事務局	11月29日
小茂根福祉園	12月7日	原町ホーム	12月9日
みなと保育園	12月14日	サンホーム	12月16日
昭島病院	12月22日		

監事監査

監事による監査は、法人事務局並びに昭島病院・事業局について月1回定期的に監査が行われ、施設についても下記のとおり実施されました。

指摘を受ける事項は認められませんでした。助言等を運営改善に活かしました。

なお、5月14日に定款第26条の定めにより法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査が行われ、監査の結果は適正であると認められました。

利用者預り金関係	6月8日	
双葉園	万世敬老園	フジホーム
ニューフジホーム	原町ホーム	ゆたか苑
ひかり苑	昭島荘	いこいの家
さやま園	さくらんぼ	アミニティ富士見
レヂオンス巣鴨		

施設運営関係

サンライズ山中	6月15日	サンライズ青山	6月22日
サンライズ武蔵野	7月13日	大山保育園	10月19日
みなと保育園	12月14日		

